

平成18年度  
支笏洞爺ニセコルート活動報告  
《ウエルカム北海道エリア》

0. 地域活動報告の概要
1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
3. 地域及び行政の運営に関する報告
4. 審査委員会意見に関する報告

0-地域活動報告の概要

・地域活動に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:ウエルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者:ウエルカム北海道エリア 代表 白石一人	報告年月:2007/3/31
-------------------------------	-------------------------	----------------

	ルート(エリア)運営計画基本方針	ルート(エリア)運営計画活動内容	活動No	平成18年度 地域活動(総括)
景観形成	来訪者をもてなすウエルカムルートの創出	エリアインフォメーションシステムの検討	S W - 1・2	おもてなしの心を持って、清掃活動や沿道を彩る花植え活動などを行い、地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。特に小学生との沿道における花植え活動では、植栽作業だけではなく、次年度につながる管理作業も実施できた。今後は、現在の活動を継続し、エリアの特徴を活かして様々な切り口からエリア景観の向上を目指していく。
		エリアマップの作成	S W - 3・4	
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	支笏湖の湖面利用に関する規制	完了	
		水辺の眺望ポイントの整理	S W - 3	
		河川や湖面、沿道の清掃(清掃活動の推進)	S W - 5・6・7	
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	みどりのマイルストーン(道標)の整備		
		ウエルカムゲートの整備促進	S W - 8・9・10・11	
	花とみどり(紅葉する樹木)の植栽	S W - 8・9・10・11・12		
	エリアの景観ルールづくり			
	看板や広告物の規制の検討			
観光振興	周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり	ファームイン・体験農園との連携の検討		エリアの魅力が感じられる観光地を巡るバスツアーや、特産品をテーマとした広域イベントなどにより、地域の魅力をPRすることができた。今後は、地域連携の充実を図りながら活動の継続を目指すとともに、エリアとしての新たな観光メニューの創出に向けた取り組みや、それらの情報を効果的に発信していく仕組みづくりなどについて検討していく。
		食をテーマにした特産品の開発・地域連携の推進	S W - 3・12・13	
		エリア企業との連携による魅力づくり	S W - 12・14・18	
	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催	S W - 16	
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	観光コミュニティバスの実験運行	S W - 12・14	
		ホームページの作成	S W - 17	
		エリアの周遊の検討	S W - 3・12・14	
	ルートを対象としたイベント・ツアーの企画・実施(シーニックナイト～灯りで繋ぐ雪の道～)	S W - 18・19		
	特定テーマによるルートプロモーション活動			
地域づくり	地域資源の発掘と保全活用	支笏湖タウンマップの作成	S W - 4	地域の魅力ポイントをめぐるバスツアーやエリアの周遊ルートづくりなどをきっかけに、地域資源の発掘やその有効活用についての検討を深めている。今後は、エリアや地域(住民や行政、企業など)との交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源の活用方法やその仕組みを具体化していく。
		旧ユースホステルの保全・活用		
		タウンウォッチングなどによる地域資源の発掘	S W - 1・3	
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	地域ブランド化の検討		
		手づくり品・オリジナルポストカードの制作		
		コミュニティビジネス研究	S W - 3・12・14	
	交流と連携による地域づくりの推進	子ども・住民向け文化事業の推進・活動参加のしくみづくり	S W - 18・20	
		各研修会などの開催		
タウンミーティングの開催				
CO2削減		S W - 14		
	自然環境学習・教育プログラム	S W - 9・10・11		

## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-1

SHIKOTSU-TOYA-UISEKO PARK ROUTE

ルックルックえにわ調査隊

【内 容】 まちの宝探しをテーマに、えにわシーニックプロジェクトが番組を制作し、毎週水曜日の午前8時40分から20分間湖コミュニティFMにて放送。今年度はシーニックハイウェイ北海道の「シーニック宝島」や「トレジャーハント企画」とも連携、シーニック及び、エリアの情報発信をおこなった。

【放送局】 FMバンブキン 【番組制作】 えにわコミュニティ放送株式会社

【制作協力】 えにわシーニックプロジェクト

【周波数】 77.8MHz

【可聴範囲】 恵庭市内



FMバンブキン  
COMMUNITY BROADCASTING STATION

## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-2

SHIKOTSU-TOYA-UISEKO PARK ROUTE

シーニックハイウェイ北海道パネル展示

【内 容】 北海道内では、87番目となる道の駅と、道内外でも珍しい川の駅を併設した『道と川の駅花ロードえにわ』の新設オープンにあたり、シーニックハイウェイ北海道及び、支笏洞爺ニセコルート・ウエルカム北海道エリアを紹介するパネルを展示。

【日 時】 7月1日（土）より

【場 所】 道と川の駅「花ロードえにわ」センターハウス内

【主 催】 えにわシーニックプロジェクト

【協 力】 社団法人 恵庭観光協会



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-3

SHIKOTSU-TOYA-UISEKO PARK ROUTE

ウエルカム北海道エリア 裏街道53次

【内 容】 裏街道53次事業は、ウエルカム北海道エリアやその周辺地域の魅力ある地域資源を収集しその資源をつなげて新たな観光ルートの創出を目指す取り組みです。今年度地域資源情報の収集として、活動団体メンバーでのアンケート調査やおすすめルートを検討するワークショップなどを行いました。

【事業期間】 平成18年度内

【主 催】 ウエルカム北海道エリア代表者会議  
(えにわシーニックプロジェクト、NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ、社団法人千歳青年会議所)



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-4

SHIKOTSU-TOYA-UISEKO PARK ROUTE

支笏湖グリーンマップの多言語原稿作成

【内 容】 今年度は、多言語の観光マップの版下を完成。今後は自治体に助成金などの申請を行い、予算状況に応じて、印刷・配布を実施。

【製 作】 NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ

【制作協力】 支笏湖温泉旅館組合

【製作物】 支笏湖の多言語（日・中・韓・英）の観光マップ



※写真は日本語版のグリーンマップ

## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-5

SHIKOTSU-TOYA-UISEKO PARK ROUTE

453530(町・町・町)キャンペーンin支笏湖

【内 容】支笏湖温泉から丸山分岐までの国道453号の清掃活動を実施。5月30日にちなんだゴミゼロ運動。今年で、3年目をむかえる取り組みであり、今回からボランティアサポートプログラムを活用し実施。

【日 時】平成18年5月30日(火) 6:15~7:30

【場 所】支笏湖駐車場集合 一般国道453号支笏湖畔~苫小牧分岐付近

【主 催】NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ

【協 力】千歳市、札幌開発建設部、(財)自然公園財団支笏湖支部

【参加者】60名



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-6

SHIKOTSU-TOYA-UISEKO PARK ROUTE

秋の453(ヨゴサン)キャンペーン

【内 容】秋の観光シーズン前に、支笏湖温泉から、苫小牧市方面に向かう約3kmの国道453号沿いの区間で清掃活動を実施。当日は、昨年度に引き続、支笏湖小学校の園地清掃活動と連携し実施。

【日 時】平成18年9月29日(金) 6:15~8:00

【場 所】支笏湖駐車場集合 一般国道453号支笏湖畔~苫小牧分岐付近

【主 催】NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ

【協 力】千歳市、札幌開発建設部、(財)自然公園財団支笏湖支部

【参加人数】60名(うち、支笏湖小学校18名)



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-7

SHIKOTSU-TOYA-UISEKO PARK ROUTE

えにわ湖慈しみフェスタ

【内 容】 漁川ダムの水質浄化を目指した植物（サリカ）の植栽協力をした後に、漁川ダムの周辺や上流域（道道恵庭岳公園線と国道453号との交流地点までの間）を清掃。昼食時には、集められたゴミの量を確認するとともに、参加者同士の親睦を深めるクイズ大会等の交流会を開催。

【日 時】 平成18年7月22日（土）8：30 ～13：00

【場 所】 漁川ダム及びその周辺（道道恵庭岳公園線）・集合場所：漁川ダム下の公園

【主 催】 えにわ湖慈しみフェスタ実行委員会（NPO法人水環境北海道を中心に、えにわシーニックプロジェクトを含む23団体により組織）【協 賛】 サッポロビール（株）北海道工場、山崎製パン（株）札幌工場、（株）エバーライブ、漁川の水を守る会、等合計8団体

【参加者】 約250名



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-8

SHIKOTSU-TOYA-UISEKO PARK ROUTE

恵庭岳公園線植えるカム花ロード

【内 容】 恵庭インターチェンジから市街地に向かう道道恵庭岳公園線約800mの中央分離帯に、恵庭市・土木現業所・えにわシーニックプロジェクトの他、フラワーマスターの会、老人倶楽部、町内会等、地域住民が協働し、植栽と前年度植えた宿根草周辺の雑草除去を実施。

【日 時】 平成18年6月3日（土）10：00～12：00

【場 所】 道道恵庭岳公園線（牧場周辺）・集合場所：おひさま公園

【主 催】 恵庭市 花と緑の課

【共 催】 札幌土木現業所千歳出張所・えにわシーニックプロジェクト

【協 力】 フラワーマスターの会、老人倶楽部、町内会 他



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-9

SHIKOTSU-TOYA-UISEKO PARK ROUTE

千歳エアポート花ロード36.ver4  
春のメンテナンス

【内容】平成17年9月、国道36号沿道に（社）千歳青年会議所を中心とし千歳市、札幌開発建設部が協働し、市内小学生525名とともに植栽した芝桜の雑草除去及び、平成18年度事業の現地調査を実施。芝桜は、歩道側に咲き、車道側はほとんどみられなかった。

【日時】平成18年5月25日（木）10：00～12：00

【場所】国道36号線JR南千歳駅付近沿道

【主催】社団法人 千歳青年会議所

【協力】千歳市、札幌開発建設部

【参加者】36名



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-10

SHIKOTSU-TOYA-UISEKO PARK ROUTE

千歳エアポート花ロード36Ver.4花植え

【内容】4年目を迎えた今回は、千歳市内の小学校3校と連携し、各小学校でプランターへの植栽作業を行った後、プランターを回収しJR南千歳駅前の国道36号線に設置。小学生との協働により、秋に咲くヘルギーマムで新千歳空港周辺のおもてなしを演出。

【日時】平成18年9月20日（水）・21日（木）・22日（金）

【場所】花植え：千歳市立緑小学校、桜木小学校、日の出小学校

プランター設置：JR南千歳駅前の国道36号線沿い

【主催】社団法人千歳青年会議所 【協力】千歳市、札幌開発建設部、千歳道路事務所

【参加人数】189名 緑小学校58名（3年生）、桜木小学校28名（6年生）、日の出小学校103名（2年生）



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-11

SHIKOTSU-TOYA-UISEKO PARK ROUTE

千歳エアポート花ロード36Ver.4  
越冬プロジェクト

- 【内 容】次年度の事業に活用することを目指して、国道36号線沿いから回収したプランターから宿根草（ベルギーマム）を植え替え、来春までの越冬を試みた。  
千歳市立緑小学校（30株）、千歳市立桜木小学校（20株）と千歳市（80株）千歳道路事務所（30株）の協力により、各花壇に植え替えを実施。
- 【日 時】平成18年11月17日（金）13：00～14：30
- 【場 所】千歳市立緑小学校、桜木小学校、千歳市、千歳道路事務所
- 【主 催】社団法人千歳青年会議所 協 力】千歳市、札幌開発建設部、千歳道路事務所
- 【越冬場所提供】千歳市立緑小学校、桜木小学校、千歳市、千歳道路事務所
- 【参加人数】64名 会場1：緑小学校58名（3年生） 会場2：千歳市6名



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

参考

SHIKOTSU-TOYA-UISEKO PARK ROUTE

千歳ウエルカム花ロードプロジェクト

- 【内 容】北海道の玄関口である新千歳空港周辺のイメージアップと観光客の増加を目的として、国道36号と道道千歳インター線を合わせた約4.5kmの沿道に植栽を実施。  
ウエルカム北海道エリアのエリア活動である千歳エアポート花ロード36を主催する千歳青年会議所が協力団体として参加。今後の連携を目指す。
- 【日 時】平成18年8月23日（水）9:45～11：30
- 【場 所】新千歳空港周辺（国道36号・道道千歳インター線）・集合：第2航空団平和官舎横
- 【主 催】新千歳空港アクセス沿道景観形成連絡会議  
（北海道開発局札幌開発建設部、北海道札幌土木現業所、千歳市）
- 【事務局】千歳ウエルカム花ロード・プロジェクト事務局（千歳市）
- 【協力団体】社団法人千歳青年会議所 【参加者】約400名



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-12

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

えにわいいとこどりツアー

【内 容】 恵庭市内の見所を住民ボランティアのガイドにより見学するバスツアー。自然を満喫しながら公園でのキノコ採りやマンドリンコンサート、地元の食材を活かした昼食、秋の紅葉散策等、地域資源を再確認するとともに恵庭の魅力をPRした。

【日 時】 平成18年10月14日（土）8：00～18：00

【主 催】 社団法人恵庭観光協会、えにわシーニックプロジェクト

【連 携】 ノーススターツーリスト

【参加人数】 47名

【ツアールート】 JR各駅（札幌、新札幌、恵庭）→緑のふるさと森林公園→ラルマナイ自然公園→サッポロビール工場→道の駅「花ロードえにわ」→JR各駅



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-13

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

輪っしょいちとせ ～深めよう地域の輪～

【内 容】 地域経済の活性化や地域間交流の促進を目指して、千歳市近隣市町村の地域の特産物を約20店舗で販売・PRを行う他、地域の魅力を発信するためのPRブースを出店。ウエルカム北海道エリアの活動団体（2団体）も参加し、シーニックバイウェイ北海道のブースにて、エリア活動のPR等を実施。

【日 時】 平成18年8月12日（土）10：00～17：00

【場 所】 千歳アウトレットモールレラ駐車場内 特設会場

【主 催】 社団法人千歳青年会議所【後 援】 千歳市、恵庭市、苫小牧市、安平町、白老町、長沼町、由仁町、伊達市とそれぞれの観光協会、千歳民報社、北海道新聞千歳支局、シーニックバイウェイ北海道

【来場者】 4,014名



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-14

SHIKOTSU-TOYA-RISEKO PARK ROUTE

支笏湖シーニックシャトルバス

【内 容】支笏湖周辺の見所を地域住民がガイドし、地元ならではの地域情報を提供しながらまわるバスツアーを実施。1日2便運行し、途中下車による温泉入浴や登山などを楽しむ。2年目の運行であり、支笏湖商店街や旅行代理店と連携により、メニューを充実、料金を500円から1200円に引き上げて実施。

【場 所】支笏湖周辺（支笏湖温泉、オコタンベ湖、樽前山七合目、苔の洞門）

【主 催】NPO支笏湖まちづくり機構Neoステージ

【連 携】中央バス、株式会社シーピーツアーズ

【乗車料金】1,200円（小・中学生1,000円）

【運行期間】平成18年8月26・27日、9月9・10・16・17・18日、10月16・17・18日

【延べ利用者数】約200名



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-15

SHIKOTSU-TOYA-RISEKO PARK ROUTE

サンセットコンサート

【内 容】第56回を迎える支笏湖湖水まつり（7月8日（土）・9日（日）・29日（土））の最終日に、景観と音楽を楽しむ支笏湖サンセットコンサートを開催。森と湖、自然を背景に、道内で活躍されている森崎ひとみ氏、杉田知子氏の奏でる歌とヴァイオリンの音色を楽しんだ。

【日 時】平成18年7月29日（土）午後6時30分

【場 所】支笏湖温泉

【主 催】支笏湖まつり実行委員会

【主 幹】支笏湖まちづくり機構Neoステージ

【参加者】約200名



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-16

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

クリスマスイベント

- 【内 容】 毎年恒例となっている地域のクリスマスイベントとして、イルミネーションの点灯や、小学生を対象とした映画の上映会などが行われました。
- 【日 時】 平成18年12月21日（木）、22日（金）、23日（土）
- 【場 所】 ユースホステル旧館
- 【主 催】 NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ
- 【対 象】 支笏湖の住民

## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

参考

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

アイスコンサート

- 【内 容】 ノルウェーを代表するアーティスト「テリエ・イースングセット」を招き、日本国内においては初めての氷による楽器を使ったコンサートを実施。氷との新たな接し方や楽しみ方を会場のみなさんと共有した。
- 【日 時】 楽器製作 平成19年2月14日（水）、15日（木）  
コンサート 平成19年2月16日（金）、17日（土） 19：00開演
- 【会 場】 支笏湖水濤まつり会場 特設ステージ
- 【主 催】 NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ
- 【後 援】 ノルウェー王国大使館、千歳市、千歳市教育委員会
- 【協 力】 支笏湖まつり実行委員会



## 支笏洞爺二セコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-17

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

エリアホームページ

【内 容】活動団体間の連携強化や広域への情報発信等を目的に、既存のエリアホームページをリニューアル。更新にあたっては、メンバー同士の打ち合わせ等に有効なブログ機能やトピック形式による活動情報の掲載などが新機能として加えられました。今後はホームページを有効活用したエリア事業の推進を目指す。

【制作期間】平成18年9月～平成19年2月

【制 作】ウエルカム北海道エリア エリア代表者会議



## 支笏洞爺二セコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-18

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

雪んこまつり キャンドルナイト

【内 容】道の駅「花ロードえにわ」をメイン会場に、国道36号テクノパーク周辺を、市内小中学校PTAやテクノパーク友交会と連携し、キャンドルで彩った。10日は、支笏洞爺二セコルート連携事業シーニックナイトの一環として、11日は、えにわ雪んこまつりと連携して実施。

【日 時】平成18年2月10日（土）・11日（日） 17:00～夜間

【場 所】道と川の駅 花ロードえにわ、テクノパーク周辺の国道36号沿い

【主 催】第24回えにわ雪んこまつり実行委員会  
(社団法人患庭青年会議所、えにわシーニックプロジェクト)

【協 力】市内小中学校PTA、テクノパーク友交会など



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-19

SHIKOTSU-TOYA-RISEKO PARK ROUTE

支笏湖雪あかりの散歩道

【内 容】 氷瀑まつりの開催に合わせ、支笏湖の自然豊かな冬とキャンドルの灯りがおりなす幻想的なひと時を観光客に楽しんでもらおうと企画。大小4基の雪像などに150～200本のロウソクを灯した。支笏洞爺ニセコルートの連携事業シーニックナイトとして実施。

【日 時】 平成18年1月26日（金）～2月18日（日）の、土、日、祝日

【場 所】 支笏湖温泉街 園地

【主 催】 NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ

【参 加】 NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージメンバーとその他地域住民



## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

参考

SHIKOTSU-TOYA-RISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト

【内 容】 支笏洞爺ニセコルートをキャンドルの灯りで結ぼうと各エリアが連携。キャンドル約30,000本の協賛があり、ウエルカム北海道エリアは、支笏湖温泉街、道の駅花ロードえにわ及び、周辺国道36号ををキャンドルの灯りで彩った。他のエリアにおいても自発的な参加や、配布キャンドル以外の廃油キャンドルや雪のオブジェなど、想い想いに雪と灯りを楽しむ期間となった。

【日 時】 平成19年1月27日～2月12日 / 一斉点灯1月27日（土）、2月10日（土）

【場 所】 支笏洞爺ニセコルート

【主 催】 シーニックナイト2007実行委員会

【後 援】 後志観光連盟、倶知安町、ニセコ町、蘭越町、喜茂別町、京極町、真狩村、留寿都村、洞爺湖町、壮瞥町、倶知安町観光協会、ニセコリゾート観光協会、洞爺湖温泉観光協会、支笏湖温泉旅館組合、北海道運輸局、北海道開発局札幌・小樽・室蘭開発建設部

【協 賛】 NTTDOCOMO、北海信用金庫、ニセコマウンテンリゾート、グラン・ヒラフ、ルスツリゾート、アウトレットモール・レラ、トヨタレンタリース札幌、ホテル甘霧の森、カフェ・ピッコロハウス、北海道トラック、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、協賛企業各社



ウエルカム北海道エリア 支笏湖温泉

ニセコ羊蹄エリア ニセコ町綺羅街道

洞爺湖エリア 道の駅「そうべつサムズ」

## 支笏洞爺ニセコルート《ウエルカム北海道エリア》

SW-20

SHIKOTSU-TOYA-RISEKO PARK ROUTE

恵庭市市民スキー場スノーフェスタ2007

【内 容】 恵庭スキー連盟主催のスキー大会・スノーボード大会のイベントと連携して開催。お菓子を点在させ、チューブでの滑降中にそれを取る人間カーリングや滑りながら雪玉を当てるストラックアウトなどの子供向けイベントや、親子で楽しめるロング滑り台、チューブリレーなど、様々な企画の他、軽食の販売等を実施。

【日 時】 平成19年3月4日（日）

【場 所】 恵庭市市民スキー場

【主 催】 えにわシーニックプロジェクト 【協 力】 恵庭スキー連盟

【来場者】 約1,200名



1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

・地域活動に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:ウエルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者:ウエルカム北海道エリア 代表 白石一人	報告年月:2007/3/31
-------------------------------	-------------------------	----------------

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括	
来訪者をもてなすウエルカムルートの創出	エリアインフォメーションシステムの検討	S W - 1	ルックルックえにわ調査隊	えにわシーニックプロジェクト	平成18年度	・恵庭市に開設されたコミュニティFM「FMパンプキン」にて、シーニックバイウェイの番組が定期的に放送されインフォメーション機能の一部を担った。 ・今後も、コミュニティFMの活用を手がかりにエリアインフォメーションについて検討していく。	おもてなしの心を持って、清掃活動や沿道を彩る花植え活動などを行い、地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。特に小学生との沿道における花植え活動では、植栽作業だけではなく、次年度につながる管理作業も実施できた。今後は、現在の活動を継続し、エリアの特徴を活かして様々な切り口からエリア景観の向上を目指していく。	
		S W - 2	道と川の駅「花ロードえにわ」パネル展示	えにわシーニックプロジェクト	平成18年度(7月1日～3月31日)	・道と川の駅花ロードえにわのオープンに伴い、施設内の休憩スペースに、シーニックバイウェイ及び、ウエルカム北海道エリアを紹介するパネルを展示。 ・また、エリア内のえにわ市民情報サロン、支笏湖ユースホステルを各情報拠点とし、支援センターより発行の季刊情報紙SCENEを配置。 ・現在も継続し、パネルを展示しており、今後も、道の駅、情報拠点などを手がかりにエリアインフォメーションについて検討していく。		
	エリアマップの作成	S W - 3	ウエルカム北海道エリア裏街道53次(魅力発掘・収集アンケートの実施)	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成18年度	・今年度は、マップ制作に向けた地域情報の収集として、「魅力発掘・収集アンケート」を実施。 ・今後も事業を継続し、マップの制作を目指す。		
		S W - 4	グリーンマップ	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成18年度	・今年度は、グリーンマップの多国語化に取り組み、版下を完成させることができた。次年度はマップの印刷と配布を目指す。		
			「恵み野花マップ」製作	えにわシーニックプロジェクト	平成18年度(春季)	・花のまち恵庭をPRする、恵み野花マップを昨年度に続き製作したいと考えている。		
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	支笏湖の湖面利用に関する規制		支笏湖の湖面利用に関する規制の検討	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成18年度		・平成18年度、自然環境や動植物の生息や生育環境への悪影響を防ぐため環境省の規制により、支笏湖全域においてプレジャーボート等の乗り入れが禁止された。 ・次年度以降は、監視体制等について検討していく。
		水辺の眺望ポイントの整理	S W - 3	ウエルカム北海道エリア裏街道53次(魅力発掘・収集アンケートの実施)	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成18年度		・裏街道53次「魅力発掘・収集アンケート」でよせられた地域情報に、水辺のポイントも含まれていたが、眺望ポイントの整理までは至らなかった。 ・北海道開発局により、支笏湖駐車場に「とるば」の設置も行われており、今後、エリアの特徴のひとつである支笏湖などの水辺の眺望を意識した視点場設置を検討していく。
河川や湖面、沿道の清掃(*清掃活動の推進)		S W - 5 6	453(コト)サン530(ゴミせロ)キャンペーンin支笏湖[春・秋]	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	5月30日(火) 9月29日(金)	・国道453号において、春、秋の観光シーズン前に清掃活動を実施。3年目を迎えた今年度は、VSPの導入により支援体制と役割分担が明確化され、運営が円滑に行われた。 ・千歳道路事務所や千歳市をはじめ、自然公園財団や支笏湖小学校(園地清掃)との連携が継続され、協働の沿道景観づくりが行えた。 ・支援センターの協力により、全ルートの清掃活動情報をホームページに掲載、シーニックの景観づくりの取り組みをPRした。 ・今後は、エリア・ルート内で、清掃活動月間を設けるなど、意識的な連携と効果的なPRを検討。		
		S W - 7	えにわ湖慈しみフェスタへ協力団体として参画	えにわシーニックプロジェクト	7月22日(土)	・漁川ダム周辺及び上流域で(道道恵庭岳公園線と国道453号交流地点の間)、水質浄化をはじめとする環境保全の取り組み「えにわ慈しみフェスタ」に、協力団体として参画、植栽・清掃活動を実施。 ・空き缶やゴミくず、雑誌等約1t、不法投棄された廃タイヤ60本、テレビや洗濯機、パソコンのモニターなどの廃家電の収集により、ゴミの不法投棄の状況を確認。 ・今後も、協力団体として側面から活動を支援する。		

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
花とみどりによる四季の感じられる景観形成	みどりのマイルストーン(道標)の整備		* 植栽・清掃活動が主な活動となり、道標についての取り組みは行われなかった。	えにわシーニックプロジェクト		・植栽・清掃活動が活動の主となり、道標についての検討は進まなかった。 ・今後、中長期的な取り組みとして、エリアを訪れた方に地域資源をどのように伝えるか、道標の考え方、ふさわしい場所、仕様等を検討していく。(裏街道53次等とあわせ、地域資源の表示等を検討)	
	ウエルカムゲートの整備促進	S W - 8	恵庭岳公園線ウエルカム花ロード	えにわシーニックプロジェクト	6月3日(土)	・道道恵庭岳公園線のインターチェンジ付近から市街地に向けた中央分岐帯約900メートルを、来訪者をもてなす”植えるかむ花ロード”として雑草除去と一年草の植栽を実施。 ・恵庭市が主催、札幌土木現業所、地域住民、フラワーマスターの会等の協働し2年目を迎える取り組み。 ・植栽後の維持管理が課題であり、これらの改善を模索しつつ、今後も来訪者を迎える意識を大切にしたい取り組みとして協力・継続を働きかける。	
		S W - 9 ・ 10 ・ 11	千歳からはじまる北海道エアポート花ロード36ver.4	社団法人千歳青年会議所	5月25日(木) 9月20日(水) 21日(木) 22日(金) 11月17日(金)	・新千歳空港へのアクセス道路である国道36号を、北海道の玄関口としてふさわしいおもてなしをしようと沿道植栽を実施。今年で、4年目を迎える取り組み、春は、昨年植えた芝桜の雑草除去。秋には、市内小学校3校の協力を得、ベルギーマムのプランターを設置。子どもたちへの、シーニックハイウェイの周知にも繋がった。 ・行政や小学校と連携し、協働で北海道らしいさわやかな演出ができた。 ・おもてなしの意識を持った、将来の景観づくりの担い手育成のきっかけがくれた。 ・花によるおもてなしを継続して演出していくため、引き続き、学校・自治体・道路管理者との連携を行う他、市民・企業等へ参加の仕組みを検討する。 ・維持管理することで、自分たちの花と思えるように、参加者の活動への関心を高めていきたい。そのためには花植えだけではなく、維持管理作業にも参加できる仕組みを作るなど愛着心を育む取り組みを展開していきたい。	
	花とみどり(紅葉する樹木)の植栽	S W - 8	恵庭岳公園線ウエルカム花ロード	えにわシーニックプロジェクト	6月3日(土)	・比較的に長い間開花を楽しめる宿根草と、色鮮やかで一般向けする一年草を組み合わせて植栽し、春から秋にかけて沿道景観を彩った。今後も活動に継参加していく。	
		S W - 9 ・ 10 ・ 11	千歳からはじまる北海道エアポート花ロード36ver.4	社団法人千歳青年会議所	5月25日(木) 9月20日(水)・21日(木)・22日(金) 11月17日(金)	・北海道の夏観光が終盤を迎える秋季に、小学生と暖色系の宿根草を植栽し、季節感のある沿道景観づくりにつとめた。しかし、小学生の参加は一過性のイベント的な参加傾向が見られたため、今後は、通年での参加が得られる仕掛けとして、充実した景観教育の要素を持った活動を展開していきたい。	
		S W - 12	えにわいとこどりツアーによる植樹体験	えにわシーニックプロジェクト	10月14日(土)	・えにわいとこどりツアー内の企画として、緑のふるさと森林公園で植樹体験を行った。 今後はこのような実績を活かして、樹木による北海道らしい沿道景観づくりを検討していきたい。	
	エリアの景観ルールづくり		* 恵庭市で計画中の景観計画事業に参加	えにわシーニックプロジェクト	平成18年度	・恵庭市の景観形成基本計画の策定に際し、市民委員として、えにわシーニックプロジェクトのメンバーが参加。 ・今後は、エリア全体の景観について、代表者会議等で検討していく。	
看板や広告物の規制の検討							

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:ウエルカム北海道エリア 代表 白石一人	報告年月:2007/3/31
-------------------------------	-------------------------	----------------

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括	
周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり  観光振興	ファームイン・体験農園との連携の検討		地域資源の発掘を手がかりに検討	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成18年度	・裏街道53次事業での地域資源の発掘作業を手がかりに検討した。次年度以降も引き続き取り組みを行う。	エリアの魅力が感じられる観光地を巡るバスツアーや、特産品をテーマとした広域イベントなどにより、地域の魅力をPRすることができた。今後は、地域連携の充実を図りながら活動の継続を目指すとともに、エリアとしての新たな観光メニューの創出に向けた取り組みや、それらの情報を効果的に発信していく仕組みづくりなどについて検討していく。	
	食をテーマにした特産品の開発 ・地域連携の推進	S W - 3	裏街道53次		えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成18年度		・食をキーワードのひとつとして地域資源を収集、発掘した結果、エリア内の様々な「食の魅力ポイント」を整理することができた。 ・食の魅力ポイントの発掘を継続して行っていく。
		S W - 12	えにわいとこどりツアー		えにわシーニックプロジェクト	10月14日(土)		・地元の食材を使った料理を振る舞った。 ・食材を手がかりに地域の魅力を発信した。
		S W - 13	輪っしょいとせ		社団法人 千歳青年会議所	8月12日(土)		・エリア内、またはその周辺市町村の間で、それぞれの地域の特産品を共通テーマとした地域連携が実現した。 ・食を通して地域の魅力を発信する事ができた。
	エリア企業との連携による魅力づくり	S W - 12	えにわいとこどりツアー		えにわシーニックプロジェクト	10月14日(土)		・ツアーのメニューとしてサッポロビール工場の見学を取り入れ、企業との連携を図った。 ・地元旅行業者と連携を図り景勝地巡りを中心としたバスツアーを実施した。 ・企業との連携を継続することが今後の課題。
		S W - 14	支笏湖シーニックシャトルバス		支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	8月26日(土)、27日(日)、9月9日(土)、10日(日)、10月16日(月)、17日(火)、18日(水)		・地元旅行業者と連携を図り、地域の魅力ポイントを巡るバスツアーを実施した。地域の魅力をPRした。 ・クーポンなどで付加価値をつける工夫をしたが、その利用はほとんどなかった。
			雪んこまつり キャンドルナイト		えにわシーニックプロジェクト	2月10日(土) 11日(日)		・地元企業との連携のもと活動を行った。初めての取り組みであったにもかかわらず、予想以上の協力が得られ、イベントの成功につながった。 ・今回作られたつながりを今後の活動に活かしていくことが課題。
	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催	S W - 15 ・ 16	サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	サンセット 7月29日(土) クリスマス 12月21日、22日、23日		・継続事業としてサンセットコンサート・クリスマスイベントを開催し、支笏湖の魅力をPRした。 ・景観と音楽を楽しむサンセットコンサートは、集まった200人を前にして、ピアノやヴァイオリン奏者により自然豊かな支笏湖にふさわしい様々な曲が演奏された。 ・今後は地元で楽しむクリスマスイベントを継続すること、サンセットコンサートについては集客力を高めることが課題。
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	観光コミュニティバスの実験運行	S W - 12	えにわいとこどりツアー	えにわシーニックプロジェクト	10月14日(土)		・継続してきた事でリピーターが確保でき参加申し込みも定員を越すほどの人気企画となった。 ・旅行代理店の介入により安定した運営と明確な会計決算が行えた。 ・市民団体の協力を得る等、内容の充実が図られた。 ・地域の旅行業者がモデルにするような観光ツアーが実施できた。 ・一定の収益があった事から費用面においては安定が期待できつつあるが、運営面においては参加者に満足してもらうために発生する負担(細かな気遣い、手間や時間)が大きいことが結果として分かった。 ・今後は継続して事業展開していける仕組みを検討することが課題。
			S W - 14	支笏湖シーニックシャトルバス	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	8月26日(土)、27日(日)、9月9日(土)、10日(日)、10月16日(月)、17日(火)、18日(水)		・地元の住民ガイドが好評を得ている。 ・定期運行のシャトルバスに加えて収益性が高い観光バスツアーなどの運行を検討していく。 今後は団体としてエリアガイドの育成に取り組むことが課題である。

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者:ウエルカム北海道エリア 代表 白石一人	報告年月:2007/3/31
-------------------------------	-------------------------	----------------

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	ホームページの作成	S W - 17	ホームページの作成	エリア代表者会議 えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成18年度	・ウエルカム北海道エリア代表者会議として、独自ドメインhttp://www.welcome-hokkaido.com/を取得。平成16年に作成されたエリアホームページを基に、更新の手間などを考慮し、ブログ機能を取り入れてリニューアルを行った。一般ユーザーへの情報発信の他、エリア会議等非公開での情報共有も可能なホームページが完成した。 ・今後はホームページを活かしながら、情報発信及び、エリア運営を進める。	
	エリアの周遊の検討	S W - 3	ウエルカム北海道エリア裏街道53次	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成18年度	・新たな観光ルートを創出し、エリアの周遊性を高める取り組みを進めた。地域の魅力ポイントを活かして、エリアの良さを感じながら周遊できるルートづくりを継続して目指す。 ・今後は、地域資源の発掘を進めながら、周遊性を高めるマップ作りなどに取り組んでいく。	
		S W - 12	えにわいとこどりツアー	えにわ シーニックプロジェクト	10月14日(土)	・団体ごとにバスツアーを継続事業として行い好評を得ている。これらをひとまとめに実施する事は難しいが、それぞれの企画運営面における実績やツアーメニュー等を摺り合わせる事で、エリア周遊のルートや観光メニューの創出等につなげていきたい。	
		S W - 14	支笏湖シーニックシャトルバス	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	8月26日(土)、27日(日)、9月9日(土)、10日(日)、10月16日(月)、17日(火)、18日(水)		
	トレジャーハント等の実施		トレジャーハント	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成18年度	・シーニックバイウェイ北海道の取り組みとして、トレジャーハント企画が全道展開された。ウエルカム北海道エリアでは、企画に関わるPRとして、FM/パンキンの番組内での参加呼びかけ、輪っしよいちとせや道の駅花ロードえにわでのトレジャーマップの販売など、協働で企画の推進に取り組んだ。 ・地域の資源や魅力をPRする取り組みを継続していく。	
エリア連携によるふれあい観光の推進	ルートを対象としたイベントの企画・実施 (シーニックナイト～灯りで繋ぐ雪の道～)	S W - 18	雪んこまつり キャンドルナイト	えにわ シーニックプロジェクト	2月10日(土) 11日(日)	・取り組みは各団体の活動場所である各地で行うため、活動自体は他団体との接点が乏しかったが、同じ目的で取り組む事ができた。 ・団体ごとの活動スタイルに合わせて参加できるようになると良い。	
		S W - 19	支笏湖 雪あかりの散歩道	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	1月26日(金)～2月18日(日)の、土、日、祝日		
	ルートを対象としたツアー等の企画・実施		連携による取り組み	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	2月15日(水)	・次年度は、トレジャーハントやシーニックバイウェイ支笏センターとの連携のもと、取り組みを推進していく。	
	特定テーマによるルートプロモーション活動		連携による取り組み	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成18年度	・シーニックバイウェイ支笏センターの協力で、全ルートの清掃活動の情報がホームページに掲載された。 ・今後は、花植えや清掃活動を連携のテーマに活動していく。	

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域資源の発掘と保全活用	支笏湖タウンマップの作成	S W - 4	グリーンマップ	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成18年度	・外国人観光客に対応すべく多言語化を進めてきた支笏湖クリーンマップの版下 が今年度完成した。今後はこのマップの印刷を目指し、将来はマップを活かして地 域の魅力を広げ発信していく。	地域の魅力ポ イントをめぐるバス ツアーやエリア の周遊ルートづ くりなどをきっか けに、地域資源 の発掘やその有 効活用について の検討を深めて いる。今後は、 エリアや地域 (住民や行政、 企業など)との 交流を深め、協 力関係を築きな がら、地域資源 の活用方法やそ の仕組みを具体 化していく。
	旧ユースホステルの保 全・活用		シーニックバイウェイ情報拠点	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成18年度	・情報拠点として活用した。今後は情報拠点としての有効活用とその展開が課題で ある。	
	タウンウォッチングなど による地域資源の発 掘	S W - 3	裏街道53次	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステー ジ	平成18年度	・新たな観光ルートの創出を目指して、地域ごとに(恵庭、千歳、支笏湖)資源の発 掘を行った。しかし、事業初年度であったことから、発掘作業は活動団体に限ら れ、地域住民の関わりが希薄となってしまった。 ・次年度からは地域住民を巻き込んだ地域資源の発掘を目指したい。 ・地域資源を手がかりにエリアの魅力を確認したことで地域のPRにつながった。	
		S W - 1	ルックルックえにわ調査隊	えにわ シーニックプロジェクト	平成18年度	・トレジャーハントなどをテーマとした番組を切り口に、地域資源の発掘につとめ た。 ・番組の収録等をきっかけに、様々な人材を発掘する事ができた。 ・今後は、地域住民を巻き込んだ資源発掘を進めていく。	
地域づくり	地域ブランド化の検討		「恵み野花マップ」の制作による地域ブ ランドのPR	えにわ シーニックプロジェクト	平成18年度 (春季)	・「花」のまち恵庭をPRするため、観光協会と連携して「恵み野花マップ」を制作。今 後も引き続き取り組みを進める。また、エリアホームページに掲載しダウンロード可 能とするなど、周知の方法についても検討する。	
			支笏湖のヒメマスの活用	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成18年度	・今年度は特に取り組みを行っていないが、今後は支笏湖の特産であるヒメマスの 地域ブランド化を目指していきたいと考えている。	
	手づくり品・オリジナル ポストカードの制作		商品製作	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成18年度	・支笏湖水濤まつりにて、地元の小学生がデザインしたキャラクターを印画した、手 袋(軍手)を販売した。	
	地域の資源を活 かしたコミュニ ティビジネスの 創出	S W - 3	裏街道53次	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステー ジ	平成18年度	・エリア全体で周遊ルート検討の基礎資料をつくる事ができた。 ・今後は、将来的に周遊ルートを活用したコミュニティビジネスへの展開を目指して いく。	
S W - 12		えにわいとこどりツアー	えにわ シーニックプロジェクト	10月14日(土)	・ツアーを実施した結果、収益が得られたことから、ビジネス化への可能性が広 がった。 ・えにわいとこどりツアーがベースとなった千歳と支笏湖をまわるバスツアーが、 連携した旅行者により企画、販売された。 ・今までは、とにかく参加者に満足してもらおう事を一番に考えていたが、現在のやり 方では事業展開が難しく旅行者などが引き継ぐことは困難である。食事などを手 間のかからないケイタリングにしたり店舗で食べるなど、プログラムを工夫していく ことが今後の課題である。		
S W - 14		支笏湖シーニックシャトルバス	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	8月26日(土)、27日(日)、9 月 9日(土)、10日(日)、10 月16日(月)、17日(火)、18 日(水)	・今年度は昨年度の成果を踏まえて、乗車料金を値上げする等、ビジネス化を視 野に入れて運行した。 ・今後は、定期運行のシャトルバスに加えて、収益も重視した観光バスツアーなど の運行を検討していく。		

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者:ウエルカム北海道エリア 代表 白石一人	報告年月:2007/3/31
-------------------------------	-------------------------	----------------

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり 交流と連携による地域づくりの推進	子ども・住民向け文化事業の推進と活動参加のしくみづくり	S W - 18	雪んこまつり キャンドルナイト	えにわシーニックプロジェクト	2月10日(土) 11日(日)	・地元の小中学校、高校、専門学校、企業など、地域連携のもと活動した。その結果、参加者とともに、活動の充実と感動を味わうことができた。 ・今回作られたつながりを今後の活動に活かしていくことが課題。	
		S W - 20	恵庭市市民スキー場スノーフェスタ2007	えにわシーニックプロジェクト	3月4日(日)	・地域の行事を活性化しようと、恵庭市市民スキー大会にあわせ、スキー連盟への協力として、親子で楽しめる冬のイベントを実施した。 ・今後は、スノーフェスタに関わらず、次代の地域づくりを担う子供たちや、それをとりまく地域に対して、活動をきっかけに地域文化の浸透、新たな文化の創出などを推進に努める。	
	各研修会などの開催		フォーラムの開催	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	2月16日(金)	・支笏湖アイスコンサートに絡めて、ノルウェーをテーマとしたフォーラムを開催。会場とした千歳市内の小学校に地域住民と小学生が集まり、ノルウェーという国について学んだ。	
			ガイド育成事業	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成18年度	・地域の事を学び、地域の魅力を発信する、地元住民のガイド育成に取り組んだ。今後も取り組みを継続し、地域づくりの場で活躍する人材の育成を目指していく。	
	タウンミーティングの開催		各種会議等の開催	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成18年度	・エリア代表者会議、検討会などの場で、活動の協働のあり方(役割、支援)などについて議論していく。	
	Co2削減	S W - 14	支笏湖シーニックシャトルバス	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	8月26日(土)、27日(日)、9月9日(土)、10日(日)、10月16日(月)、17日(火)、18日(水)	・地域の魅力ポイント巡りをバスツアーとして行うことで、車両の乗り入れを制限し、Co2の削減につとめた。	
	自然環境学習・教育プログラム	S W - 9 ・ 10 ・ 11	千歳からはじまる北海道エアポート花ロード36ver.4	社団法人 千歳青年会議所	5月25日(木)  9月20日(水) 21日(木) 22日(金)  11月17日(金)	・千歳市内の小学校3校の参加を得て実施した。授業の一環としても行い子供たちの環境教育の場を設けた。	

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告

・行政の事業に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:ウエルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2007/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

基本方針	平成18年度の活動内容	関連する活動団体	実施機関	活動実施日	成果及び課題	総括
来訪者をもてなすウエルカムルートの創出	・道路情報板を活用した、「シーニックバイウェイ支笏洞爺ニセコルート」のPR	支笏洞爺ニセコルート	・札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部	平成18年12月より実施	・支笏洞爺ニセコルート内の国道において、道路情報板を活用し、「シーニックバイウェイ支笏洞爺ニセコルート」のPRを実施	
	・道と川の駅「花ロードえにわ」シーニックパネル展示への協力	えにわシーニックプロジェクト	・札幌開発建設部 ・恵庭市	平成18年度 平成18年度	・道と川の駅「花ロードえにわ」のオープンにあわせ、活動団体が実施するシーニック情報発信として、シーニックバイウェイ北海道パネルを提供 ・休憩所の展示スペースを提供	
北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	・「道道恵庭岳公園線植えるかむ花ロード」の主催及び協力	えにわシーニックプロジェクト	・恵庭市 ・北海道札幌土木現業所千歳出張所	6月3日(土) 6月3日(土)	・昨年に引き続き、活動団体、地域住民、千歳土木現業所と連携し、恵庭インターチェンジより市街地に向かい約800mの中央分岐帯の植樹及び、雑草除去を主催 ・花苗等、物資の準備、運営を行う。 ・昨年に引き続き、ふれあいのまちクリーン事業として助成。3カ年限定の事業であり、次年度、最終年を迎えることから、継続にむけた検討が必要。 ・人的支援として、清掃活動に参加	
	・「えにわ慈しみフェスタ」のゴミの処理及び、運営支援	えにわシーニックプロジェクト	・恵庭市	7月22日(土)	・道道恵庭岳公園線(漁川ダム周辺より、国道453号との交流地点までの清掃活動及び、植栽活動において、ゴミ処理及び、運営を支援。	
	・「453・530(ヨゴサン・ゴミゼロ)キャンペーン」のゴミ処理、清掃用具の提供等	NPO法人支笏湖まりづくり機構Neoステージ	・千歳市 ・札幌開発建設部 千歳道路事務所 ・支笏湖自然保護官事務所	5月30日(月) 9月29日(金)	・ボランティア・サポートプログラムに(VSP)により、ゴミ処理を支援 ・VSP手続きの他、活動運営等をサポート ・人的支援として、清掃活動に参加 ・ボランティア・サポートプログラムを導入、清掃用具を提供。 ・人的支援として、清掃活動に参加 ・人的支援として、清掃活動に参加	
	・「千歳からはじまる北海道エアポート花ロード36 ver.4」の共催及び、運営支援	社団法人千歳青年会議所	・千歳市 ・札幌開発建設部 千歳道路事務所	5月25日 9月20・21・22日 11月17日	・平成15年より、事前準備及び、当日の運営支援、植栽時の散水車を協力。 ・花の越冬場所の提供(緑の課花壇) ・人的支援として、雑草除去、植栽、花の越冬チャレンジ等の活動に参加。 ・地域協働プロジェクトとして、同取り組みを共催。 ・地域活動団体と連携し、雑草の除去及び、小学校と連携した植栽、越冬チャレンジの取り組みを実施。 ・越冬場所の提供(千歳道路事務所花壇)	
花とみどりによる四季の感じられる景観形成	・「千歳ウエルカム花ロードプロジェクト」の実施	社団法人千歳青年会議所	・千歳市 ・千歳土木現業所 ・札幌開発建設部	8月23日	・札幌開発建設部、札幌土木現業所が協働する新千歳空港アクセス沿道景観形成連絡会議の事務局として、市内全小学校への取り組み周知、及び、一般参加者の募集等を実施。 ・道道千歳空港線において、植栽活動を実施。一般参加の呼びかけとして、ホームページへチラシを掲載。 ・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスへの植栽を実施。	

景観づくり	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	・「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」	NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ	・石狩森林管理署	平成17年度～平成19年度	・セブーンイレブンみどりの基金と、北海道森林管理局・石狩森林管理署が協定を結び、台風被害にあった支笏湖周辺の森林を再生するため、行政・環境市民団体・企業・地域団体などから成る「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり実行委員会」を設立。 ・市民が「森の育て親」になって100haの大地に10万本の植樹に協働して取り組む。 ・石狩森林管理署は、支笏湖周辺の風倒木被害地域である国有林を活動場所として提供し、森づくりの基本的な技術指導を行います。
	エリアの景観ルールづくり	・恵庭市において、景観形成基本計画を策定	エリア代表者会議	・恵庭市	平成18年度	・恵庭市では、平成19年度に、景観形成基本方針(ガイドプラン)・指針(ガイドライン)の策定を予定。平成17年度においては、策定委員会を組織し、市民・事業者・行政が協働、「恵庭市景観ウォッチング」「景観セミナー」等を行い、景観形成基本計画を策定。
		・国道36号 景観診断	エリア代表者会議	・札幌開発建設部	平成15年～平成17年度	・シーニックバイウェイの基幹ルートとして指定されている、国道36号において、住民参加による景観診断を実施、平成17年度までに対象となっている区間について実施を終えた。
看板や広告物の規制の検討	・シーニックバイウェイルートにおいて、道路標識の集約を試行	エリア代表者会議	・札幌開発建設部 千歳道路事務所	平成18年度	・国道453号において、視認性と景観の向上を目的とし、道路標識の集約化を試行。	
観光振興	周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり	・「近隣地域連携交流事業 輪っしよい千歳」後援	社団法人千歳青年会議所	・恵庭市 ・千歳市	8月12日	・活動団体が主催する、近隣地域で作られている食を中心とした物産店「輪っしよい千歳」を後援。
	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	・ノルウェー交流「アイスコンサート IN 支笏湖」への助成	NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ	・千歳市	2月16・17日	・千歳市の「みんなで、ひと・まちづくり基金」にて、「アイスコンサート IN 支笏湖」を助成。
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	・ホームページによる、シーニックバイウェイ北海道及び、エリア活動のPR	エリア代表者会議	・石狩支庁 ・札幌開発建設部 千歳道路事務所	平成18年度	・石狩支庁ホームページ「石狩の観光」トピックスにおいて、シーニックバイウェイ北海道を特集で紹介。シーニックバイウェイ北海道及び、エリア活動のPRを実施。
		・コミュニティFM放送「シーニック宝島」を後援	エリア代表者会議	・札幌開発建設部	平成18年度	・札幌開発建設部 千歳道路事務所ホームページの改訂にともない、シーニックバイウェイ及びエリアの活動を周知するページを開設。
		・「シーニックバイウェイ」本の配布	エリア代表者会議	・札幌開発建設部	平成18年度	・札幌開発建設部内の公立図書館及び、商工会議所、観光連盟等へシーニックバイウェイ本を配布。 ・エリア内外の地域で、シーニックに興味を持った方が、手軽にシーニックバイウェイについて知ることができ、シーニックへの参加の可能性を高めた。
ルート連携によるふれあい観光の推進	・「シーニックナイト～灯りで繋ぐ雪の道」への後援及び活動PR ・除雪協力	シーニックナイト実行委員会 ・えにわシーニックプロジェクト ・NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ	・札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部	1月23日	・ルート連携活動「シーニックナイト～灯りが繋ぐ雪の道～」において、取り組みの「後援」及び、一斉記者発表など活動のPRを支援。 ・国道36号(恵庭バイパス)における除雪協力 ・職員有志が、個人サポーターとなり、取り組みを応援。	
地域づくり	地域資源の発掘と保全活用	・「裏街道53次事業」地域の魅力発掘アンケートへの協力	エリア代表者会議	・札幌開発建設部 千歳道路事務所	平成18年度	・ウエルカム北海道エリア内の地域資源発掘アンケートをホームページへ掲載、調査への協力を呼びかけるとともに、職員有志により、アンケート調査への記入協力。
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出					
	交流と連携による地域づくりの推進	・「恵庭雪んこまつり・キャンドルナイト」/「えにわスノーフェスタ」の周知	えにわシーニックプロジェクト	・恵庭市	平成18年度 2月10・11日 3月4日	・「恵庭雪んこまつり・キャンドルナイト」/「えにわスノーフェスタ」において、教育委員会より、市内の小学校へチラシを配布。活動の周知に協力。

3. 地域及び行政の運営に関する報告

・支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:ウェルカム北海道エリア代表 白石一人	報告年月:2007/3/31
-------------------------------	------------------------	----------------

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
地域の運営 に関わる事項	エリア運営 (事務局体制)	スケジュール調整など					会議の企画・運営/キャンペーンの企画・サポート									
	代表者会議						● 8月1日 (第1回エリア) 千歳	● 9月22日 (第2回エリア) 恵庭	★ 10月8日 (ルート)	● 11月17日 (第3回エリア) 支笏湖				■ 3月22日 (第4回:行政合同) 千歳		
	(個別)				■ 6月28日 (景観づくり 検討会)				★ 10月24日 (連携プロジェクト 検討会)	★ 11月14日 (連携プロジェクト 検討会)	★ 12月21日 (連携プロジェクト 検討会) ● 12月27日 (HP検討会)		● 2月23日 (HP勉強会)			

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2007/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事項	行政連絡会議の実施			● 5月17日 (第1回) 千歳									● 2月20日 (第2回) 恵庭	● 3月22日 (第3回:エリア合同) 千歳	
	エリア通信の配信		◇ 4月27日 (Vol.3)		◇ 6月16日 (Vol.4)						◇ 12月1日 (Vol.5)		◇ 2月27日 (Vol.6)	◇ 3月27日 (Vol.7)	

4. 審査委員会意見に関する報告

・支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者:ウエルカム北海道エリア代表 白石一人 / 札幌開発建設部	報告年月:2007/3/31
-------------------------------	----------------------------------	----------------

	支笏洞爺ニセコルート運営代表者会議の報告	支笏洞爺ニセコルート行政連絡会議の報告	備考	
シーニック バイウエイ ルート全体 に対する意 見	景観への取り組み:景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニティビジネスの創出	・道道恵庭岳公園線、国道36号線における植栽活動(恵庭岳公園線植えるかむ花ロード、千歳からはじまる北海道エアポート花ロード36.ver4)、国道453号における春・秋の清掃活動(530・453(ゴミゼロ・ヨコザン)キャンペーン)を継続して実施。 ・また、コミュニティビジネス創出へ向け、昨年に引き続き、恵庭、支笏湖それぞれで、お勧め景観ポイントなど地域資源を巡るバスツアー及び、周遊バスを運行、料金設定を変更し、収益性を高めた。	・恵庭岳公園線植えるかむフラワーロードを協働実施。(恵庭市、札幌土木現業所千歳出張所) ・千歳からはじまる北海道エアポート花ロード36.ver4を千歳市、札幌開発建設部が共催 ・国道453号において春・秋の清掃活動(454キャンペーン)を支援	
	持続性の確保:参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用	・植栽・清掃活動、バスツアー等、継続活動においては、VSPの活用や自治体、観光協会との連携など、継続した事業実施に向けた取り組みを進めている。活動の継続により、課題解決において専門的知識等が必要となることが予想されることから、今後、活動や成果に対するアドバイザーの確保が重要と考えられる。	・活動団体の取り組みに対する相談窓口として、関連する各行政機関担当者名簿を作成し、各活動団体に配布。今後も、担当者の変更があれば、更新し再配布するとともに、行政向けに活動団体の取り組みや、シーニックバイウエイ情報を提供するウエルカムエリア通信を配信(現在、Vol6まで、配信)。	
	地域特性の活用:北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保	・北海道ならではの冬を楽しむ取り組みとして、支笏湖では、日本初となるフィンランドの演奏家によるアイスコンサートを実施。また、ルート連携事業として、「シーニックナイト～灯りで繋ぐ雪の道～」に今年、新たに恵庭が参加、活動に広がりがもてた。	・冬期集中活動の取り組みにおいて、ルートが連携した「キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～」を後援。記者発表など、活動のPRを行った。	
	ホスピタリティ向上:研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成	・支笏湖シーニックシャトルバス、恵庭いいとこどりツアーでは、活動団体が地域ガイドとして乗車。支笏湖においては、地域情報の伝導も含め、エリアガイド育成に取り組んだ。		
	全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携	・ウエルカム北海道エリアホームページが完成。エリア独自の情報発信が可能となった。また、支笏湖シーニックシャトルバス、えにわいいとこどりツアーにおいては、バス運送会社や、旅行会社等と連携した取り組みを実施。	・エリア内のレンタカー等へ集中活動月間紙を配布するとともに、記者発表など、ホームページを活用した情報発信を実施。 ・海外観光客の利用も考慮した情報受発信のあり方に関する調査検討を実施。	
	開かれた運営体制:継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働	・植栽活動、清掃活動をはじめ、イベント等においても、シーニックバイウエイ北海道活動団体以外の地域の方々と連携した取り組みを実施している他、地元のコミュニティFMを通じた情報発信等、参加者の募集に努めている。	・植栽活動、清掃活動をはじめ、イベント等においても、シーニックバイウエイ北海道活動団体以外の自治体や、関連行政機関と連携した取り組みを実施。	
	既存観光地からの脱却を目指し、歴史・文化・レクリエーションなど幅広く地域の個性を生かした新たなツーリズムの展開に向けた取り組みの実施	・平成18年度より、エリアが連携し、新千歳空港より、東千歳、恵庭の観光資源の発掘及び、それらポイントをつないだ新しい周遊ルートをつくらうという取り組みが開始。(裏街道53次事業)全道で展開しているトレジャーハントなどとあわせ、地域の歴史・文化を活かした新たな魅力づくりを進めていく。		

ルート名称:支笏洞爺二セコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者:ウエルカム北海道エリア代表 白石一人 / 札幌開発建設部	報告年月:2007/3/31
-------------------------------	----------------------------------	----------------

	支笏洞爺二セコルート運営代表者会議の報告	支笏洞爺二セコルート行政連絡会議の報告	備考	
支笏洞爺二セコルート	今後、3エリアがひとつのテーマでつながり、ブランド化されるため、一層連携した取り組みが必要であるとともに、十分な体制と支援が必要である。	・昨年に引き続き、「シーニックナイト ～ 灯りで繋ぐ雪の道～」をルート連携により実施。実行委員会組織を立ち上げての実施となったが、事前準備等、十分な打ち合わせができなかった。	・札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部、各エリアの行政事務局が集まり、情報交換・情報共有等を実施、ルート連携活動に対するサポート等について検討。 ・ルート連携活動「シーニックナイト～灯りが繋ぐ雪の道」では、一斉記者発表等、活動のPRを行った。	
	地域住民、旅行者が共有できるようなテーマ、ルート名(愛称含む)等の工夫が引き続き必要	・恵庭岳公園線における「植えるかむフラワーロード」、「ウエルカム」の気持ちをあらわす、「千歳からはじまる北海道エアポート花ロード36」など、「ウエルカム」という言葉がエリアのキーワードになりつつはあるが、今後も引き続き検討を行う。 ・また、地域の資源を繋ぐ周遊ルートの検討を行っており、それらとあわせ名称を検討していく。		
	ウエルカム北海道エリアについて、市街地部の景観改善が本ルートの重要な役割を担うことから、景観意識の向上等に継続的に取り組んでいく必要がある。	・千歳からはじまる北海道エアポート花ロード36において、小学校と連携し、おもてなしの景観を彩る植栽活動と、それを継続的に取り組むための花の越冬を一連の景観づくりプログラムとして実施。	・千歳からはじまる北海道エアポート花ロード37において、小学校と連携し、おもてなしの景観を彩る植栽活動と、それを継続的に取り組むための花の越冬を一連の景観づくりプログラムを活動団体と地域協働プロジェクトとして継続した取り組みを実施。 ・今年は、新たに、「ウエルカム花ロード」として、国道36号から道道千歳空港線への植栽も実施、今後の継続の仕組みを検討する必要がある。	
	「食」文化について一層の取り組みを期待したい。	・エリアの魅力発掘・収集アンケートにより、エリア及び、周辺の食の情報を収集。今後、有効な活用方法を検討する。	・エリアの魅力発掘・収集アンケートの記載協力。	

5. 平成17年度活動報告への助言に対する状況報告

・支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者: ウエルカム北海道エリア代表 白石 一人	報告年月: 2007/3/31
--------------------------------	--------------------------	-----------------

平成17年度活動報告への助言	平成18年度 状況報告			備考
助言 1	記載事項	現ルート運営計画	新規 記載事項	
①現状における「運営体制」「関係団体数」「関係自治体」等の実態にあわせルート運営活動計画を見直すこと。	・エリア代表者	えにわシーニックプロジェクト 泉谷 清 (平成17年度 エリア代表)	NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ 白石 一人 (平成18年度エリア代表)	* なお、平成19年度においては、社団法人 千歳青年会議所 理事長 佐藤哲也氏が代表をつとめる。
助言 2				
②基幹となる道路に、地域住民、旅行者が共有できるような分かりやすい名称の検討が必要	<p>・ウエルカム北海道エリアでは、平成18年度より、裏街道53次プロジェクトとして、エリア内の資源発掘及び、新たな周遊ルートづくりにむけた検討を行っている。今年度は、資源調査が中心であったが、次年度以降、継続した取り組みを行うため、周遊ルートのづくりとあわせ、名称についても検討を行う考え。</p> <p>・また、新千歳空港に接続する国道36号での「エアポート花ロード」「ウエルカム花ロード」や、恵庭インターチェンジ付近の道道恵庭岳公園線「植えるかむ花ロード」等のおもてなしの気持ちをあらわす植栽活動を継続しており、活動と連動し、イメージを高めるような名称等についても検討を行う。</p>			

# 平成18年度 支笏洞爺ニセコルート活動報告 《洞爺湖エリア》

- 0. 地域活動報告の概要
- 1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
- 2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
- 3. 地域及び行政の運営に関する報告
- 4. 審査委員会意見に関する報告

0. 地域活動報告の概要

・地域活動に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:洞爺湖エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

	基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度 地域活動(総括)
景観形成	洞爺湖に彩を添える	眺望ポイントの調査研究		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度、景観分科会が正式に設立され、洞爺湖エリアにおける景観のあり方について検討が行われている。</li> <li>・エリア全体の取り組みとして「看板撤去活動」が昨年度に引き続き拡大展開されるなど、活動団体の景観に対する意識向上が図られている。</li> <li>・今後は活動の継続に向けた仕組み・組織づくりについての再検討が必要。</li> <li>・今後も引き続き景観分科会を中心として、「景観診断」等の結果も踏まえた、ルートの景観づくりに関する指針等の検討、及び作成を行う。</li> </ul>
		サクラの植栽		
	温泉街らしさを演出する	洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理		
		花と緑(紅葉する樹木)の植栽	S T - 1	
		洞爺湖温泉の花・プランター整備		
果樹園などの田園景観を整える	湯煙のあるまちづくりの推進			
	温泉街のサインの統一			
	くだもの村の統一看板の設置			
エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去	馬の歩く道景観づくり			
	花和地区の花壇整備			
	よごさん(453)キャンペーンの実施	S T - 2		
	花による沿道の演出			
地域づくり	エリアの資源の発掘と保全活用	エリアの資源の研究会の開催		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道よごさんキャンペーンを通じ、エリア資源を活用したコミュニティビジネスの可能性が見いだせた。</li> <li>・今後も地域資源を活用したツアー(ボランティアガイド付き)の企画、実施展開を図る必要がある。</li> <li>・急増中の海外観光客受け入れに向けた、検討、ソフトインフラの整備が必要。</li> </ul>
		地域資源マップの作成		
	エリアの産業の活性化	コミュニティビジネスの研究		
		地産地消の推進		
	エリアの人材育成	保養型温泉観光の推進		
体験型農業の推進				
NPO化に向けた研修会の開催				
観光振興	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	温泉街ガイドブックの発行		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、観光振興に関しては個別の活動に比重が置かれていたが、後半にかけてエリア全体・ルート全体の取り組みに向けた検討が進められている。</li> <li>・取り組みを継続・発展させるためのビジネス展開についての検討が必要。</li> <li>・リピーター確保に向けたストーリーづくりの必要性(エンターテイメント、演出等)</li> <li>・シーニックバイウェイ北海道“洞爺湖エリアとしてのPR”、“地域ブランド化”の必要性</li> <li>・ホスピタリティを提供する人材育成の必要性(ボランティア、コーディネーター等)</li> </ul>
		おもてなしキャンペーンの実施		
		シーニックデッキの設置		
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	フォトコンテストの開催		
		エコミュージアムガイドブックの発行		
エコミュージアムツアーの企画				
洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	ターゲットを絞った散策・体験ツアーの企画運営			
	エリア人材バンクの設立			
	マップ・パンフレットの作成			
	物産展の開催	S T - 3		
シーニックバスツアーの企画・運行	花和地区の花壇整備			
	ホームページやエリアマップなどでの情報発信			
	エリアの資源を活用した複合ツアーの企画			
	イベントの企画・運営			
人材育成のための研修会などの開催	★ルートを対象としたイベントの企画・実施(シーニックナイト2007~灯りで繋ぐ雪の道~)	S T - 4		
	★ルートを対象としたツアー等の企画・実施(外国人観光客モニターツアー)			

## 支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》

ST-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『シーニック花壇の整備（駐車帯の緑化活動）』

【内 容】 国道230号沿いの駐車帯（虻田町入口付近）に活動団体の方が種から育てた3類のマリーゴールドを植栽。虻田町の玄関口として観光客を温かく迎えることを目的に実施。植栽後も定期的に活動団体が中心となり、清掃活動を行っている。

【主 催】 NPO法人 洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖温泉観光協会

【実施期間】 6月、8月

【参 加 者】 各15名程度



国道230号沿いの花壇の植栽の様子



駐車帯付近湖畔沿いの清掃活動（草刈り）の様子



植栽終了後のシーニック花壇の様子

## 支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》

ST-2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『国道よごさん(453)キャンペーン』

【内 容】 そうべつくだもの村が中心となり、町内外の団体、関係機関の連携により、「良好な治道環境、景観づくり」の一環として、国道453号や道道洞爺湖登別線等の沿線、駐車場公園を中心に清掃活動を実施。（ボランティアサポートプログラムとして登録）今回は、新たな試みとして札幌市のコミュニティ放送局の協力を得て、札幌圏からも約40名の参加者を募り、清掃活動をしながら地域住民によるガイド付きのエコミュージアム体験ツアーも行われました。

【主 催】 そうべつくだもの村、壮瞥町観光協会、エコミュージアム推進協議会 他

【実施日】 平成18年9月10日(日)午前9時00分

【参加者】 約130名



洞爺湖畔の清掃



エコミュージアムツアー



参加者全員での集合写真

## 支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》

ST-3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『シーニックバイウェイ・インフォメーションコーナーの開設』

【内 容】JR洞爺駅に隣接する駅交流センターの活用し、旅行者への情報提供や地域住民との交流機能の充実を図り、洞爺駅周辺の活性化を図ることを目的とする。

洞爺高等学校との連携により、美しい景観写真やシーニックカレンダーの展示、虻田高校ギャラリー等を実施。

【開設日】平成18年11月1日より

【主 催】ゆったリズム体験倶楽部、洞爺高等学校 他

※今後の展開及び検討について

- 洞爺高校の生徒が参加体験する観光情報コーナーの開設
- 洞爺湖エリア情報資源研究会（仮称）での利用促進検討  
（洞爺湖エリア及び支笏洞爺ニセコルートの連携した情報発信体制、情報提供内容の検討）
- 洞爺駅周辺商店街等、沿道住民との交流連携について検討（シーニックバイウェイ北海道制度の認知向上を図る）



開設場所であるJR洞爺駅の様



秋の紅葉スポット写真展示状況



支笏洞爺ニセコルート「エリアパンフレット」

情報誌「SCENE」

## 支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》

ST-4

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『シーニックナイト2007 ―灯りで繋ぐ雪の道―』

【内 容】シーニックバイウェイ「支笏・洞爺・ニセコルート」をキャンドルの灯りで結ぼうと各エリアが連携。キャンドル約30,000本の協賛があり、洞爺湖エリアは洞爺湖温泉街及び、壮瞥エリアは道の駅そうべつサムズ、そうべつ温泉「ゆーあいの家」をキャンドルの灯りで彩った。他のエリアにおいても自発的な参加や、配布キャンドル以外のカラーキャンドル、雪のオブジェなど、それぞれが思い思いに雪と灯りを楽しむ2日間となった。

【実施期間】平成19年1月27日（土）～2月12日（月・祝）

【一斉点灯】平成19年1月27日（土）、2月10日（土） 時間17：00～

【主 催】シーニックナイト2007実行委員会（支笏洞爺ニセコルート連携組織）



支笏洞爺ニセコルート上の点灯箇所図



道の駅「そうべつサムズ」の様子



壮瞥温泉「ゆーあいの家」の様子



洞爺湖温泉街の様子

北海道新聞（朝刊31面）  
平成19年1月29日付

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

・地域活動に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:洞爺湖エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔	報告年月:2006/3/31
--------------------------	------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
洞爺湖に彩を添える	眺望ポイントの調査研究		虻田高校生による調査	ゆったリズム体験倶楽部 他	平成18年度	・虻田高等学校の生徒による、美しい景観の写真撮影やコメント掲載、またそれらを活用したカレンダーの作成等さまざまな展開を見せている。 ・その内容は、洞爺湖エリアのホームページにブログとしてアップされている。	
	サクラの植栽		「MOVE 洞爺湖 2006」	洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワーク 壮瞥町観光協会 ほか	平成18年4月29日	・有珠山噴火の被災にあった洞爺湖温泉の復興支援と清掃活動を目的とし、当日は300名を超えるボランティア参加者によって、洞爺湖畔の清掃活動、花壇整備や街路樹の植樹などを行った。	
	洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理						
	花と緑(紅葉する樹木)の植栽	S T - 1	『シーニック花壇の整備(駐車帯の緑化活動)』	洞爺にぎわいネットワーク 洞爺湖温泉観光協会	平成18年6月、 平成18年10月	・国道230号沿いの駐車帯(洞爺湖町入口付近)にVSPを活用し活動団体の方が種から育てた3種類のマリーゴールドを植栽。 ・観光客を温かく迎えることを目的として、植栽後も定期的に活動団体を中心となり、草刈や水まき等の維持活動を行っている。 ・綺麗にすることでポイ捨て等が減り、昨年以上にゴミが目立たなくなってきた。	
温泉街らしさを演出する	洞爺湖温泉の花・プランター整備		西山火口周辺の花壇整備	洞爺にぎわいネットワーク	平成18年10月29日	・来訪者に対するホスピタリティの一つとして、西山火口周辺に花壇を設置。 ・約30名のボランティアの方々によって整備された。	・平成18年度、景観分科会が正式に設立され、洞爺湖エリアにおける景観のあり方について検討が行われている。 ・エリア全体の取り組みとして「看板撤去活動」が昨年度に引き続き拡大展開されるなど、活動団体の景観に対する意識向上が図られている。 ・今後は活動の継続に向けた仕組み・組織づくりについての再検討が必要。 ・今後も引き続き景観分科会を中心として、「景観診断」等の結果も踏まえた、ルートの景観づくりに関する指針等の検討、及び作成を行う。
	湯煙のあるまちづくりの推進		スタンプラリー・洞爺湖温泉手湯物語Ⅱ	洞爺湖温泉観光協会	平成18年6月～ 平成19年7月末	・洞爺湖町洞爺湖温泉の手湯4カ所を巡るスタンプラリー。 ・毎月20日に抽選し、地場産品やオリジナル風呂おけなどの景品をプレゼント。	
	温泉街のサインの統一		ウェルカムサイン整備についての検討	洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワーク ほか	継続検討中	・洞爺湖温泉まちづくり交付金事業の一環として、行政機関と連携による検討を実施。 ・看板足元周りの植栽等、地域住民主体の維持管理等の仕組みづくりが必要。	
景観形成	くだもの村の統一看板の設置		民間集約看板についての検討	そうべつくだもの村 壮瞥町観光協会 ほか	継続検討中	・これまでの看板調査等を踏まえ、「撤去と看板の集約」が景観向上と、道路利用者の利便性の向上につながることから、集約看板を設置に向けた検討を進めた。 ・本計画の趣旨に賛同した民間企業については、そうべつくだもの村と維持管理	
	馬の歩く道景観づくり		ホーストレッキング	大滝レンジャーズ	平成18年度 (年10回)	・東京発ツアー(北湯沢山荘を拠点とする温泉・乗馬バック)の実施・3泊4日120,000円、5～6名。(18年度は2回実施。) ・当初予定していた、トレジャーハンティング・時間的余裕、人的余裕が全く実施できなかった	
	花和地区の花壇整備		実施せず	洞爺湖温泉観光協会	—	・今年度は、シーニック花壇整備を主な緑化活動としたため、花和地区については実施しなかった。 ・今後実施の有無については、再度検討を行う。	
	よごさん(453)キャンペーンの実施	S T - 2	よごさん(453)キャンペーンの実施	そうべつくだもの村 壮瞥町観光協会 エコミュージアム友の会 ほか	平成18年9月10日	・今回で3回目の開催となり、143名の参加により行われた。 ・今回は新たな試みとして、札幌市のコミュニティ放送局の協力を得て札幌圏からも約40名の参加者を募り、清掃活動をしながら地域住民によるガイド付きのエコミュージアム体験ツアーも行われた。 ・取り組みに賛同して頂いた民間企業の協賛も頂き、今回初めて参加費を募って実施したが大変好評だった。 ・清掃活動をきっかけにコミュニティビジネスにつながる可能性を感じ取ることが出来た。	
	花による沿道の演出		沿道美化活動	そうべつくだもの村 壮瞥町観光協会 ほか	平成18年度	・国道453号沿いの清掃活動やプランター設置等の花による沿道美化活動が町内会単位、個人単位で自主的に実施されている。	
エリアの景観ルールづくり			エリアの景観ルールづくり	景観分科会	継続検討中	・平成18年度、景観分科会が正式に設立され、洞爺湖エリアの景観についての議論が交わされた。 ・次年度末までには、洞爺湖エリアにおける「沿道景観づくり活動計画」をとりまとめる予定となっている。	
看板やノボリの撤去			景観阻害看板診断並びに撤去実施調査	そうべつくだもの村 壮瞥町観光協会 洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会 他	継続検討中	・昨年度、洞爺湖エリア全域における設置状況を調査した結果が評価され、dec自主事業の大賞を頂いた。 ・今年度は撤去に向けた検討、所有者との交渉等を引き続き行っている。	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔	報告年月:2006/3/31
--------------------------	------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
エリアの資源の発掘と保全活用	エリアの資源の研究会の開催		エリア代表者会議及び景観分科会による検討	エリア全体	平成18年度	・エリア代表者会議及び景観分科会により、洞爺湖エリアの資源及びその活用方法などについて議論を重ねた。 ・今後も引き続き検討を行い、出来ることから実践していくことを予定している。	・国道よごさんキャンペーンを通じ、エリア資源を活用したコミュニティビジネスの可能性を見いだせた。 ・今後も地域資源を活用したツアー(ボランティアガイド付き)の企画、実施展開を図る必要がある。 ・急増中の海外観光客受け入れに向けた、検討、ソフトインフラの整備が必要。
	地域資源マップの作成		伊達市周辺ウォーキングルートマップ「あるこうよ」、「ココカラマップ」の作成	大滝レンジャーズ 他	平成18年度	・伊達商工会議所、大滝商工会の事業の一環で、北海道伊達ウォーキングルートマップ「あるこうよ」、「ココカラマップ」を作成。 ・利用者にとって使いやすい、広域としての活用を考え洞爺湖エリアの情報も掲載。また、掲載内容については、地域住民の意見を広く取り込んだ。	
エリアの産業の活性化	コミュニティビジネスの研究		実施せず	洞爺にぎわいネットワーク	—	・今年度は、主に札幌国際大学や虻田高等学校と連携した取り組みに専念したため、コミュニティビジネスの研究は行われなかった。今後学生との連携活動において取り組み予定。	
	地産地消の推進		実施せず	ゆったリズム体験倶楽部	—	・今年度は、主に札幌国際大学や虻田高等学校と連携した取り組みに専念したため、地産地消の推進は行われなかった。今後学生との連携活動において取り組む予定。	
	保養型温泉観光の推進		健康保養型観光の推進	洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会 壮警町観光協会 他	平成18年度	・伊達市・壮警町健康保養型観光推進協議会が主体となって「健康促進型の温泉活用と食療法」に関する実験を実施。	
	体験型農業の推進		そうべつりんご祭り等でのPR	そうべつくだもの村 壮警町観光協会	平成18年10月8日	・毎年秋に、そうべつりんご祭り等のイベント等によって、体験型農業の推進を行っている。	
エリアの人材育成	NPO化に向けた研修会の開催		組織改編のため実施せず	レイクトピア21	—	・平成18年1月31日をもって「レイクトピア21」推進協議会は発展的に解散した。 ・なお、エコミュージアム構想推進部会については、平成18年度中に今後の活動内容、組織機能を整理して存続することとなった。 ・そのため、NPO化に向けた研修会の必要性が無くなった。	
	地元の学校と連携した活動の推進		地元の学校と連携した活動の推進	ゆったリズム体験倶楽部	継続検討中	・次年度予定の観光イベントや地域住民活動への生徒や学生の参加や役割等について、現在虻田高等学校、札幌国際大学と連携した検討を進めている。 ・平成18年度は、洞爺湖エリアホームページへのブログ掲載等を行った。	
	エリア人材登録制度の検討		情報発信・ガイド事業の実施	そうべつエコミュージアム友の会 他	平成18年度	・地域ボランティアを対象とした来訪者向けの情報発信・ガイド事業を10回実施。	
	タウンミーティング・シーニック塾の開催		エコミュージアムフォーラムの開催	洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会 他	平成19年2月1日	・伊達市消防・防災センターで、西胆振4市町の首長が一室に会して、地域資源を活かした地域づくり-エコミュージアムの可能性などをテーマにした「フォーラム」を開催。	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔	報告年月:2006/3/31
--------------------------	------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	温泉街ガイドブックの発行		温泉街ガイドブックの発行に向けた情報収集	ゆったリズム体験倶楽部	平成18年度	・地域住民が主体に参加できる地域と密着した鮮度の高い情報収集・提供を目指し、虻田高校とも協力し現在情報収集中。 ・今後はエリア全体の取り組みとしての展開を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、観光振興に関しては個別の活動に比重が置かれていたが、後半にかけてエリア全体・ルート全体の取り組みに向けた検討が進められている。</li> <li>・取り組みを継続・発展させるためのビジネス展開についての検討が必要。</li> <li>・リピーター確保に向けたストーリーづくりの必要性(エンターテイメント、演出等)</li> <li>・シーニックバイウェイ北海道“洞爺湖エリアとしてのPR”、“地域ブランド化”の必要性</li> <li>・ホスピタリティを提供する人材育成の必要性(ボランティア、コーディネーター等)</li> </ul>
	おもてなしキャンペーンの実施		「観光誘致キャラバン」の実施	洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワーク 壮瞥町観光協会	平成18年度	・昨年に引き続き「観光誘致キャラバン(名古屋、札幌、青森)」として、道内外での洞爺湖温泉のPRを実施。(継続事業、壮瞥町観光協会と連携して実施。) ・また、壮瞥町観光協会については、ナタスに参加しシンガポールからの誘客対策も実施。	
	シーニックデッキの設置		実施せず	そうべつくだもの村	—	・道の駅「そうべつサムズ」の改修工事に伴い、今年度は未実施。 ・次年度は、景観分科会における検討内容を踏まえ、新たな場所による展開も検討中。	
資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	フォトコンテストの開催		実施せず	洞爺にぎわいネットワーク	—	・フォトコンテストのあり方についての検討(これまでの応募作品の利活用等)が行われ、今年度は実施しないこととした。	
	エコミュージアムガイドブックの発行		実施せず	洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会 他	継続検討中	・「レイトピア21」推進協議会は発展的に解散し、洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会に組織改編した関係から、ガイドブックの発行については、次年度以降に持ち越しとなった。	
	エコミュージアムツアーの企画		エコミュージアムツアー	そうべつくだもの村 壮瞥町観光協会 洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会	平成18年度	・国道よごさんキャンペーン、シーニック洞爺湖エリア各種視察対応等も含め、シーニック関係のみで6回実施。 ・全て地域活動団体による現地解説付きで参加者には大変好評だった。	
	ターゲットを絞った散策・体験ツアーの企画運営		ホーストレッキング	大滝レンジャーズ	平成18年度(年10回)	・東京発ツアー(北湯沢山荘を拠点とする温泉・乗馬バック)の実施・3泊4日120,000円。5~6名。(18年度は2回実施。) ・当初予定していた、トレジャーハンティング・時間的余裕、人的余裕がなく実施できなかった	
	エリア人材バンクの設立		エリア人材バンクの設立	そうべつくだもの村 壮瞥町観光協会 洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会	平成18年度	・地域ボランティアを対象とした来訪者向けの情報発信・ガイド事業を10回実施。 ・今後は、胆振支庁と連携した「いぶり火山マイスター制度」の検討も実施予定。	
洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	マップ・パンフレットの作成		洞爺湖マップの作成(3カ国語別観光パンフ)	洞爺湖温泉観光協会	平成18年度	・英語、中国語、韓国語で表記した新しい観光パンフレットを作成。 ・洞爺湖温泉の温泉、宿泊施設、飲食などを案内するマップ、洞爺湖周辺の観光スポット、夏観光、冬観光の楽しみ方が一目で分かる紹介コーナーも設置。 ・英語版2万部、中国語版1万部、韓国語版1万部を印刷。同協会と洞爺湖周辺の各施設に置くほか、海外プロモーションの配布資料としても活用。	
	物産展の開催	S T - 3	シーニックバイウェイ・インフォメーションコーナーの開設)	ゆったリズム体験倶楽部 他	平成18年11月1日開設	・JR洞爺駅に隣接する駅交流センターの活用し、旅行者への情報提供や地域住民との交流機能の充実を図り、洞爺駅周辺の活性化を図ることを目的とする。 ・虻田高等学校との連携により、美しい景観写真やシーニックカレンダーの展示、虻田高校ギャラリー等を実施。	
	ホームページやエリアマップなどでの情報発信		洞爺湖エリアホームページの作成	ゆったリズム体験倶楽部 他	継続検討中	・地域住民が主体に参加できる地域と密着した鮮度の高い情報収集・提供を目指し、現在作成中。 ・虻田高校生徒によるブログ掲載も試行的に実施。 ・今後はエリア全体の取り組みとしての展開を目指す。	
シーニックバスツアーの企画・運行			シーニックバスツアーの企画	エリア全体	継続検討中	・“秋の453キャンペーンとエコミュージアムバスツアー”が好評だったので、今後はエリア全体としての資源を活用したツアー等の企画を検討中。	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔	報告年月:2006/3/31
--------------------------	------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
	エリアの資源を活用した複合ツアーの企画		複合ツアーの企画	エリア全体	継続検討中	・全道トレジャーハンティングと絡め、洞爺湖エリアの地域資源を巡るツアー	
	イベントの企画・運営		イベントの企画・運営	エリア全体での検討	継続検討中	・各種既存イベントの継続展開がされている。 ・また、今年度新たなイベントとして、洞爺湖温泉観光協会を中心とした連携活動として「浴衣まつり」が企画・実施され大変好評だった。	
	人材育成のための研修会などの開催		研修会などの開催	エリア全体での検討	継続検討中	・各活動団体毎に独自の研修会が開催されている。 ・エコミュージアム友の会では各種研究会が数回開催された。	
	★ルートを対象としたイベントの企画・実施 (シーニックナイト2007～灯りでつなぐ雪のみち～)	S T - 4	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「シーニックナイト2007」	シーニックナイト2007実行委員会	平成19年1月27日、平成19年2月10日	・シーニックナイトで参加地域の拡大と地域ごとの個性的な取り組みが実施されるなど連携活動が活発化。 ・今回の取り組みから民間企業との連携も始まり、着実に展開してきている。 ・シーニックナイトにおける拠点づくりの必要性、グリーンシーズンの実施についても検討中。	
	★ルートを対象としたツアー等の企画・実施 (外国人観光客モニターツアー)		外国人観光客モニターツアー	洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワーク 壮瞥町観光協会 他	—	・昨年度は無料で実施し、大変好評だったため、試行的に1人5,000円の価格で募集。 ・しかし、今回は最低催行人員に達せず中止。 ・課題としては、事前計画および周知などに関する課題が挙げられた。 ・次年度以降もエージェント等と調整・協力の上継続的な展開を考えている。	

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告

・行政の事業に関する報告(支笏洞爺ニセコルート)

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)		報告者: 室蘭開発建設部			報告年月: 2007/3/31	
	基本方針	平成18年度の活動内容	関係機関	活動実施日	成果及び課題	総括
景観形成	洞爺湖に彩を添える	洞爺湖畔に面した国道230号沿いでの花壇整備に対するVSP事業としての活動支援。 (実施区間 L=60m)	担当事務所: 有珠復旧事務所 協力自治体: 洞爺湖町	平成18年6月、10月	活動内容: 花植え・管理・除草・清掃 課題: 活動継続に向けた仕組みの検討が必要。	
	温泉街らしさを演出する	洞爺湖温泉まちづくり交付金事業を活用したウェルカム看板等の検討・整備	洞爺湖町	平成18年度	地域住民と検討委員会を構成し、米国のシーニックバイウェイ事例などを参考に、ウェルカム看板の設置検討を行った。	看板足元周りの植栽等、地域住民と協働した形での維持管理等の仕組みづくりが必要。
		とるばへの登録	室蘭開発建設部 室蘭土木現業所	平成18年度	景観の優れた駐車場を有し、観光客で賑わっている2箇所(サイロ展望台、黄溪駐車場)を地元及び観光客の投稿により認定された。	「とるば」標識が設置され、既存駐車場に付加価値が付き、地域住民への周知も図ることが出来た。
	果樹園などの田園景観を整える	国道よごさん(453)キャンペーンへの支援	室蘭開発建設部、有珠復旧事務所(VSP等の支援)、 室蘭土現(作業車の提供)	平成18年9月10日	持続可能な運営体制の構築に向け、支援協力体制の強化を図った。	札幌のコミュニティFMの協力を得て、札幌圏のサポーターに参加して頂くことに成功した。
道道沿いの草刈り・植樹		室蘭土木現業所洞爺出張所	平成18年度	町内会等地区ごとにゴミ拾い、草刈り程度は定期的に実施可能。	今後も引き続き実施予定。	
観光振興	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	道路情報板によるルート名(支笏洞爺ニセコルート)の表示	室蘭開発建設部 (札幌開発建設部、小樽開発建設部と掲載情報、時期の統一を図った)	平成18年11月～	ルート名を表示したことで、地域活動団体の方々から「活動に対するモチベーションが上がった」と高評価を得た。	今後も引き続き実施予定。
		エコミュージアム統一看板等の整備	室蘭開発建設部(国道整備分)、 胆振支庁地域政策課(市町村整備分) 室蘭土木現業所洞爺出張所(道道上の整備) 伊達市、豊浦町、洞爺湖町、壮瞥町	平成18年度	関係自治体を中心に、道路管理者や公園管理者等が適切な役割分担をふまえ、広域的に取り組んでいる。今後、住民参画をふまえたソフト的な活用が望まれる。	エコミュージアム推進協議会は国、北海道、自治体による体制で成立している。
	人との出会い・ふれあいのある観光地のしくみづくり	「シーニックナイト2007」への協力・参加	室蘭開発建設部、 室蘭開発建設部有珠復旧事務所	2007/1/27 2007/2/10	広報PR等の支援、キャンドル点灯の参加等地域住民と協働作業を行うことでエリアとして連携した事業に発展した。また、取り組み内容は新聞や広報誌等に掲載された。	継続に向けた支援体制についての検討が必要。
		シーニックバイウェイインフォメーションセンターの解説(JR洞爺駅交流センターの活用)	室蘭開発建設部、 洞爺湖町	平成18年11月～	虹田高校との連携による各種情報提供を行った。生徒が作成したシーニックバイウェイカレンダーの展示なども行われ、体験学習の場として有効に活用された。	JR洞爺駅に隣接する駅交流センターを活用し、旅行者への情報提供や地域住民との交流機能の充実を図り、洞爺湖周辺の活性化を図ることを目的として開設。今後も様々な活用方法について検討し実施する。
洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	西胆振戦略的観光推進協議会の顧問	室蘭運輸支局 胆振支庁 商工労働観光課	平成18年度	ビジットジャパンキャンペーンに関連し、海外プロモーション及び海外エージェント等の招聘事業、修学旅行誘致事業等の実施。	平成19年度も継続し、アジア圏(中国、シンガポール、タイ(予定))を中心とした誘致を展開する。	
地域づくり	エリアの資源の発掘と保全活用	いぶり・さわやかアウトドア体験事業(アウトドア体験事業報告会等)	胆振支庁 地域政策課	平成19年3月3日	平成17年からの2か年でアウトドア業者等のネットワーク化と、手軽に楽しめる胆振型のアウトドア体験メニューづくりに取り組んだ。	点している管内のアウトドア業者等のネットワーク化、胆振型のアウトドア体験メニューを検討し、モデル的に実施することにより、リピーターによるアウトドア人口の拡大を通じた新たな体験型観光の振興を図る。
		伊達市・壮瞥町健康保養型観光推進協議会(健康保養型観光の推進)	伊達市、壮瞥町	平成18年度	平成16年度から平成18年度までの3年間、民間事業者と協働の上、各種の調査研究事業、普及啓発活動などを実施。	3年間を目標に民間主体に移行し、事業化を目指したが、民間移行、事業化に必要な機運の醸成、素材の育成、ネットワークの構築など十分な基盤整備が未成熟。協議会としては、本年度をもって解散とする。
	エリアの産業の活性化	いぶり産業観光ブランド推進事業	胆振支庁 商工労働観光課	平成18年度	温泉郷を行動拠点とした「産業と観光」を連携させた産業観光の推進体制を確立し、胆振独自の観光ブランドの向上を図り、道内外からの誘客と滞在化を促進する。	平成19年度までの継続事業(予定)
	エリアの人材育成	いぶり火山マイスター制度の検討(実施時期未定)	胆振支庁 地域政策課		ホスピタリティを提供する人材の育成が必要である。	今後、専門的知識を有しフィールドワークも可能な「いぶり火山マイスター制度」の検討を予定している(実施時期未定)

3. 地域及び行政の運営に関する報告

・支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔	報告年月:2007/3/31
--------------------------	------------------------------	----------------

	基本方針	具体の活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
地域の運営 に関わる事項	連携活動(プロジェクト)の推進	453キャンペーン			企画・検討	各種関係機関との調整	最終調整	●9月10日開催								
		景観分科会準備会					事前準備、企画・検討				●12月12日景観分科会設置決定	●1月22日第1回準備会	●2月8日第2回準備会	継続検討	次年度以降も継続検討	
	キャンペーンの企画・運営	シーニックナイト2007								企画・立案		最中調整	●1月27日第1弾実施	●2月10日第2弾実施		
		外国人観光客モニターツアー				●6月14日勉強会実施(ニセコエリアと共同)					企画・立案		最終調整	※最低催行人員に達せず中止		
	洞爺湖エリアの広報活動	洞爺湖エリアホームページ作成	●4月25日研究会開催		企画調整		●仮開設			情報更新・エリア	情報受発信体制の検討・構築				●トップページリニューアル(予定)	次年度以降も継続検討
		インフォメーションセンター						事前準備、企画・検討			●11月1日開設	美しい景観写真展		虻田高校生徒の展示		次年度以降も継続予定
その他	エリア代表者会議				開催に向けた準備期間			●9月4日開催			●12月11日開催			●3月14日開催		

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2007/3/15
--------------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事項	行政連携に関するヒアリングの実施			○第1次行政ヒアリング									○第2次行政取組状況調査	状況調査
	行政連絡会議の実施		●5月29日開催		地域活動団体との連携に関する施策や推奨したい方策等								行政機関景観・観光み状況等	地域取り組み
	三開建連絡会議の実施					●8月3日第1回開催(ニセコ)		●8月4-5日第2回開催(洞爺湖)	●11月17日第3回開催(支笏湖)					●3月19日開催

4. 審査委員会意見に関する報告

・支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔	報告年月:2006/3/31
--------------------------	------------------------------	----------------

	支笏洞爺ニセコルート運営代表者会議の報告	支笏洞爺ニセコルート行政連絡会議の報告	備考
シーニック バイウエイ ルート全体 に対する意見	景観への取り組み:景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニティビジネスの創出	・国道よごさんキャンペーンを通じ、札幌圏の参加者を募る等、エリア資源を活用したコミュニティビジネスの可能性が見いだせた。	エリア代表者会議からの提案として挙げられた、景観阻害廃屋(ホテル)への現時点での対応状況を説明し、地域からも了承を得た。
	持続性の確保:参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用	最終のエリア代表者会議にて、ルート運営の組織的な仕組みの評価と再構築の必要性が挙げられており、今年度実施されたいくつかの活動については、評価軸(政策軸、マネジメント軸、成果軸、コストパフォーマンス軸)を設定し分析を実施した。	行政連絡会議において、行政機関としての支援体制についての検討が行われ、今後各機関でシーニックの普及に向けた取り組みを進めていくこととなった。(担当窓口の明確化、広報PR支援等)
	地域特性の活用:北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保	昨年に引き続き、積極的な海外観光客誘致活動の展開(道内、道外、海外)や国際雪合戦の継続開催等を観光協会や自治体を中心となって実施している。	・ビジットジャパンキャンペーン等の各種外国人誘致施策等を行政連絡会議の場を通じて、地域活動団体と情報共有。 ・個別の相談についても対応可能。
	ホスピタリティ向上:研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成	「いぶり・さわやかアウトドアフォーラム(胆振支庁独自事業)」等、各種人材育成事業への活動団体メンバーの参加。	
	全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携	洞爺湖エリア共通のバナー作成・活用によるエリア全体の意思統一を図り洞爺湖エリアの一体感を対外的にPRすることとなった。	洞爺湖エリア共通のバナーの活用については、各機関で検討調整することとなった。
	開かれた運営体制:継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働	洞爺湖エリア代表者会議及び景観分科会等の検討会に、各団体を通じて若い世代の参加者が増加傾向にある。	各機関が主催するフォーラム等に地域活動団体及び地域住民に広く声をかけることで、開かれた運営体制を目指した。
	既存観光地からの脱却を目指し、歴史・文化・レクリエーションなど幅広く地域の個性を生かした新たなツーリズムの展開に向けた取り組みの実施	「エコミュージアム友の会」では、昭和新山や有珠山、洞爺湖周辺の資源等を活用したさまざまな歴史、文化体験の連携メニュー等が企画・実施されている。	「エコミュージアム友の会」の事務局を洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会が行うことで、行政としての支援体制が構築されている。
支笏洞爺ニセコルート	今後、3エリアがひとつのテーマでつながり、ブランド化されるため、一層連携した取り組みが必要であるとともに、十分な体制と支援が必要である。	「シーニックナイト2007」の実施において、前回以上にエリア間の連携が強化された。また、3エリアを包括する実行委員会も設立し、今後の運営体制の構築につながっている。	シーニックナイトにおいては、各種報道機関への情報提供やPR等、広報周知に関する支援を行った。また、道路情報板を活用したルート名の表示については、札幌開発建設部、室蘭開発建設部と情報提供内容及び時期を統一し、ルートとしての統一性を
	地域住民、旅行者が共有できるようなテーマ、ルート名(愛称含む)等の工夫が引き続き必要	エリア代表者会議において、リピーター確保に向けたストーリーづくりの必要性(エンターテインメント、演出等)や、シーニックバイウエイ北海道“洞爺湖エリアとしてのPR”、“地域ブランド化”の必要性について意見が挙げられ、今後も引き続き検討を行うこととなった。	
	ウェルカム北海道エリアについて、市街地部の景観改善が本ルートの重要な役割を担うことから、景観意識の向上等に継続的に取り組んでいく必要である。	-	-
	「食」文化について一層の取り組みを期待したい。	各活動団体それぞれが、地場産品のPR活動を展開している。具体的には、壮瞥町観光協会が物産展の開催。そうべつくだもの村が各イベントにて地場の素材を活用したメニュー(壮瞥米のおにぎり、そうべつの野菜を使った豚汁等)を来訪者に提供し町のPRを行った。	

5. 平成17年度活動報告への助言に対する状況報告

・支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:洞爺湖エリア代表 白井祐輔
--------------------------	-------------------

平成17年度活動報告への助言	平成18年度 状況報告			備考
助言 1	記載事項	現ルート運営計画	新規 記載事項	
①現状における「運営体制」「関係団体数」「関係自治体」等の実態にあわせルート運営活動計画を見直すこと。	・エリア代表者	NPO法人洞爺にぎわいネットワーク 理事長 白井 祐輔 (平成18年度 エリア代表)	そうべつくだもの村 村長 阿野 裕紀緒 (平成19年度エリア代表)	
助言 2				
②基幹となる道路に、地域住民、旅行者が共有できるような分かりやすい名称の検討が必要	・平成18年度、景観分科会が正式に設立され、洞爺湖エリアにおける景観のあり方について検討が行われている。 ・その中で、来訪者に対するおもてなし空間のあり方等についても検討が進められており、基幹道路の名称等についてもそれに合わせて次年度以降の課題として継続検討を行う。			

平成18年度  
支笏洞爺ニセコルート活動報告  
《ニセコ羊蹄エリア》

- 0. 地域活動報告の概要
- 1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
- 2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
- 3. 地域及び行政の運営に関する報告
- 4. 審査委員会意見に関する報告

0-地域活動報告の概要

・地域活動に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:ニセコ羊蹄エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)		報告者:支笏洞爺ニセコルートニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之		報告年月:2007/3/31	
★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み					
	基本方針	エリア計画活動内容	NO	総括	
景観形成	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	眺望ポイントの調査		<ul style="list-style-type: none"> <li>・シーニックバイウェイに相応しい道路景観整備の推進や沿道景観美化事業の推進の必要性がエリア代表者会議にて今年度の課題として挙げられた。</li> <li>・活動の継続に向けた仕組みづくり(人・組織・資金等)についての検討が必要。</li> </ul>	
		神仙沼周辺の沿道の清掃活動			
		花と緑の植栽	S N - 1		
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	廃屋の撤去			S N - 2
		フォトコンテスト			S N - 3
尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	河川周辺の清掃や管理				
	河川景観の保全と河畔林の創出				
	散策路・フットパスの整備				
	エリアの景観ルールづくり			・「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」と連携した取り組みとしての検討を継続する。	
	看板やノボリの撤去				
地域づくり	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	ショートフィルム映画祭、絵画教室の開催		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア代表者会議、行政連絡会議等を通じて情報共有は昨年度以上に図ることが出来た</li> <li>・今後は具体的な地域連携の方策について検討・実施できるように継続的に協議を続けていく必要がある。</li> <li>・地域住民への活動参加呼びかけ等、情報提供に関する方針検討を引き続き行う。</li> </ul>	
		音楽コンサートの開催			
	地域資源の発掘・活用				
地域コミュニティを大切にしたい地域づくりの推進	地域の人々と連携した活動の推進				
地域の人材の育成と活用	タウンミーティング・研修会の開催				
観光振興	農産物など地場産品を活用した魅力づくり	食(農産物)の活用と売り込み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源活用型・体験型ツアーの等、既存の地域資源(モノ、人等)を積極的に活用したメニューの開発が必要。</li> <li>・ターゲットを明確にしたメニューの設定が必要。(コアなニーズに対応する「狭く深い」メニュー等)</li> <li>・シーニックの活動に参加している地域住民等、地域に還元できる仕組みづくりが必要。(=取り組みの継続に向けた仕組みづくりが必要。)</li> </ul>	
	エリアのきめ細かな情報の発信	ホームページで情報発信			
		ニセコをPRする冊子(英語・中国語)の作成	S N - 4		
	地域とのふれあいを大切にしたい観光の推進	エリアのホームページの作成			
		地域の歴史などに基づいたツアーの開催			
		地域の歴史・文化を伝える語りべの会の開催			
		ふれあいのある体験ツアーの企画開催			
シーニックバスの運行	S N - 5				
シーニックデッキ・カフェの設置		S N - 6			
★ルートを対象としたイベントの企画・実施(シーニックナイト2007~灯りでつなぐ雪のみち~)	S N - 7				
★ルートを対象としたツアー等の企画・実施(外国人観光客モニターツアー)					
その他	★エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進(エキノコックス駆除活動)		S N - 8	・エリア全体の取り組みとするため、エリア代表者会議及び行政連絡会議等の場を通じ、他の活動団体や各自治体行政機関等との連携を強化している。	
	★中学校社会科教科書に、しりべつリパーネットの活動が紹介「公民とともに生きる」(P123)				

## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SN-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『フラワーロードユリ植え』

【内 容】 道道岩内洞爺線に4万のユリの球根を植え、開花予想クイズを実施。開花時に再び訪れるよう案内する、当選者に特産物送る等、リピーター増加や村のPRを行う。

【主 催】 村づくり研究会（真狩村）

【実施日】 平成18年6月11日（土）

【参加者】 約100名



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SN-2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『ビューポイントパーキング看板の塗り替え  
（京極町更新地区）』

【内 容】 経年変化により、汚れや色あせが目立つビューポイントパーキング案内看板（計6基）塗り替えを地域活動団体及び高齢者事業団が主体となって実施。

事前に小樽開発建設部俱知安道路事務所と調整し、許可を得てから実施。シーニックバイウェイの認知度向上に向けて、今後も継続してやっていかないといけないと考えている。（最低でも10年は継続する予定）

【主 催】 京極町景観を考える会

【実施日】 平成18年10月1日（日）

【参加者】 約6名



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SN-3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『きもべつフォトコンテスト～ぼくとわたしの夏休み～』

【内 容】 喜茂別町内の小・中・高校生を対象として、夏休み期間中の思い出の写真や景観の美しい写真等を撮影してもらい、一般投票によるフォトコンテストを実施。

【主 催】 NPO法人きもべつWAO

【実施日】 平成18年9月9日～10月7日まで 表彰式は10月7日

【対 象】 喜茂別町内の小・中・高校生



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SN-4

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『ニセコガイドブック（英語版エリアガイド）』

【内 容】 ニセコ羊蹄エリアのイベント情報やシーニックバイウェイ北海道等について、写真やマップ等で紹介。ニセコ観光国際の会のホームページ上でもウェブブックとして公開中。

<http://www.niseko.gr.jp/>

【主 催】 ニセコ観光国際の会



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SN-5

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『ぐるっと羊蹄一周バスツアー』

【内 容】 昨年、一昨年に引き続き、ニセコを訪れたお客さまに、昔ニセコにも走っていた懐かしのレトロなボンネットバスの代燃車「まき太郎」に乗車してもらい、景観に優れている羊蹄山の周りを5か町村の国道・道道・町村道などを通して、のんびりと1周して楽しんでもらう企画。今回は、この企画の3周年を記念して、景観に優れたシーニックデッキでの豪華なランチメニューも提供。

【主 催】 ニセコリゾート観光協会、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会

【実施日】 平成18年9月30日（土）、10月1日（日） 各20名

【参加者】 40名（申し込み多数により抽選にて決定）



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SN-6

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『シーニックデッキくっちゃんin北四線』

【内 容】 昨年、一昨年に引き続き、倶知安町北四線地区にシーニックデッキを設置し、羊蹄山の優れた眺望景観を訪れた方々に提供。

今年度は、(株)ニセコリゾート観光協会と連携し、「シーニックなバスの旅 ぐるっと羊蹄一周バスの旅」をタイアップ。シーニックデッキでのランチを試行的に実施した。

【主 催】 NPO法人 WAO羊蹄再発見の会

【実施日】 [デッキ設置] 9/3~10/10 [レストラン営業] 9/30, 10/1



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SN-7

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『エキノコックス駆除活動（ペイト散布）』

【内 容】 ニセコ羊蹄地域が国際的な観光地へ発展するための環境整備のひとつとして、人間と野生動物が安全に共存できる状況をつくるための生態系修復の試みです。ニセコ羊蹄地域の生態系を本来の状態に戻し、人間と野生動物が安全に共存できる状況をつくる。結果として沿道景観、自然景観を安全に誰もが楽しめるようになる環境づくり。

【時 期】 5～11月（毎月1回散布）

【主 催】 NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SN-8

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『シーニックナイト2007—灯りで繋ぐ雪の道—』

【内 容】 シーニックバイウェイ「支笏・洞爺・ニセコルート」をキャンドルの灯りで結ぼうと各エリアが連携。キャンドル約30,000本の協賛があり、ニセコ羊蹄山エリアは、喜茂別町・京極町・倶知安町・ニセコ町・蘭越町市街地、ニセコグランひらふ・ニセコ東山・ニセコアンヌプリ・ニセコモイワ・ルスツリゾートスキー場エリア、ホテル甘露の森、真狩温泉他、道の駅（ニセコビュープラザ、望羊中山）等をキャンドルの灯りで彩った。他のエリアにおいても自発的な参加や、配布キャンドル以外のカラーキャンドル、雪のオブジェなど、それぞれが思い思いに雪と灯りを楽しむ期間となった。

【実施期間】 平成19年1月27日（土）～2月12日（月・祝）

【一斉点灯】 平成19年1月27日（土）、2月10日（土） 時間17：00～

【主 催】 シーニックナイト2007実行委員会（支笏洞爺ニセコルート連携組織）



1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

・地域活動に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:ニセコ羊蹄エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之	報告年月:2007/3/31
----------------------------	--------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	眺望ポイントの調査		実施せず	景観分科会 地域づくり分科会	平成18年度	・今年度は個別活動を中心に展開したため、景観分科会、地域づくり分科会としての検討は行わなかった。 ・次年度は、平成18年度、新たに羊蹄山を望める場所に2箇所のビューポイントパーキングが整備されたことをきっかけに、既存のビューポイントパーキングを含め、今後の維持管理活動方針等について景観分科会及び地域づくり分科会が中心となって検討を進めることとなった。	
	神仙沼周辺の沿道の清掃活動		共和町神仙沼周辺 パノラマラインの清掃活動	共和町商工会青年部	平成18年6月、 平成18年10月	・6月、10月(道路閉鎖前)の2回実施。 ・平日の夕方に実施しているため、参加者は10名位。 ・参加者は年々減少傾向にあるが、無理のないように継続してやって行きたい。 ・活動が大規模になると、さらに地域住民の協力が必要となる。	
	花と緑の植栽		綺羅街道沿道植栽	NPO法人ニセコマちづくりフォーラム	平成18年6月4日、 平成18年6月11日	・ニセコ花フェスタ綺羅街道事業の一環として、毎年6月から9月にかけて、NOP法人ニセコマちづくりフォーラムが中心となり、植栽活動を行なった。 ・広く町民に参加を呼びかけて実施。商工会なども連携し、多くの町民が参加(参加者数未把握)した。	
		S N - 1	フラワーロードユリ植え	村づくり研究会	平成18年6月11日	・道道6号沿道2kmにわたりユリを植える継続事業。 ・また札幌などからの参加者も年々増加しており、H18年度には村内外から100人以上の参加があった。次年度以降は、実施=赤字決済になる恐れがあり、平成18年度からフラワーロード基金やユリの花見会等、自主財源確保に繋がる取り組みを試行的に実施している。	
四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	廃屋の撤去		羊蹄山麓広域景観づくりと協働で 検討	エリア全体	継続検討中	・後志支庁で推進する「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」に活動団体メンバーが多数参加しており、シーニックバイウェイとして取り組むべく内容について継続検討中。	・シーニックバイウェイに相応しい道路景観整備の推進や沿道景観美化事業の推進の必要性がエリア代表者会議にて今年度の課題として挙げられた。 ・活動の継続に向けた仕組みづくり(人・組織・資金等)についての検討が必要。
		S N - 2	ビューポイントパーキング看板の塗り替え(京極町更新地区)	京極町景観を考える会	平成18年10月1日	・ビューポイントパーキング案内看板(6基)のペンキ塗替をボランティアで実施。 ・事前に小樽開発建設部(倶知安道路事務所)と調整し、許可を得てから実施した。 ・シーニックバイウェイの認知度向上に向けて、今後も継続してやっていかないといけないと考えている。(最低でも10年は継続する予定)	
	フォトコンテスト		フラワーロードフォトコンテスト実施	村づくり研究会	平成17年8月～10月	・平成18年度の【フラワーロードフォトコンテスト2006】は2006年8月31日に応募が締め切られ、作品を道の駅「真狩フラワーセンター」に展示。 ・10月24日に蘭越町在住の写真家 若林浩樹氏を審査委員長にお招きして当研究会メンバー出席のもと、各入選者を決定。	
		S N - 3	きもべつフォトコンテスト ～ぼくとわたしの夏休み～	NPO法人きもべつWAO	平成18年9月9日 ～10月7日まで	・喜茂別町内の小・中・高校生を対象として、夏休み期間中の思い出の写真や景観の美しい写真等を撮影してもらい、一般投票によるフォトコンテストを実施。	
尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	河川周辺の清掃や管理		尻別川周辺清掃(草刈等)	京極町景観を考える会	毎月1～2回程度	・ビューポイントパーキング周辺の草刈及び清掃活動を月に1～2回の頻度で実施。 ・毎回10名程度のボランティア参加があり、高齢者事業団の人的協力も頂いている。 ・京極町景観を考える会及び協力関係にある高齢者事業団の活動を、町長は非常に高く評価してくれている。	
	河川景観の保全と河畔林の創出		尻別川クリーン作戦	NPO法人しりべつリバーネット	平成18年6月24日	・流域内外から約300名の参加があり、収集したゴミはタイヤ、タバコの吸い殻、空き缶等、4トラック約4台分を回収。 ・参加者アンケートからも「良い行事なので来年もまた参加したい」との感想が多く、少しずつでも尻別川を愛する心が育まれてきているといえる。 ・今後も地域交流を通じ、尻別川を大切にみんなが愛する清流であり続けていけるよう活動を継続する予定。	
	散策路・フットパスの整備		尻別川沿いにおける散策路・フットパスの整備に向けた検討	NPO法人しりべつリバーネット、 ニセコ広域観光委員会	継続検討中	・ニセコ・羊蹄エリアで「フットパス」を広域でしかも民間主導で推進することにより、新しい観光商品の提供による観光客の誘致を目的とした取り組みとして、「ニセコ・ようていフットパス推進協議会(仮称)」を設置。 ・『ニセコ・ようていフットパス推進協議会(仮称)』の設立総会を平成18年9月25日に開催。	
エリアの景観ルールづくり			羊蹄山麓広域景観づくりにて検討	エリア全体	継続検討中	・後志支庁で推進する「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」に活動団体メンバーが多数参加。 ・シーニックと協働して取り組むべく内容として継続検討中。	・「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」と連携した取り組みとしての検討を継続する。
看板やノボリの撤去							

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之	報告年月:2007/3/31
----------------------------	--------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	ショートフィルム映画祭、絵画教室の開催		ニセコ絵描きさんの休日	ニセコ観光国際の会	平成18年度	・シーニックデッキ「曾我の散歩道」は自然の中で、のんびりとし、ニセコ羊蹄エリアの情報を提供する場 ・夏の日、北海道内で活躍する絵描きさん、アーティストの方々が思い思いの時間を過ごして頂いた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア代表者会議、行政連絡会議等を通じて情報共有は昨年度以上に図ることが出来た</li> <li>・今後は具体的な地域連携の方策について検討・実施できるように継続的に協議を続けていく必要がある。</li> <li>・地域住民への活動参加呼びかけ等、情報提供に関する方針検討を引き続き行う。</li> </ul>
	音楽コンサートの開催		シーニックナイト2007ジョイントコンサート	シーニックナイト2007実行委員会	平成19年2月10日	・シーニックナイトを肌で感じてもらい、生の音楽に接してもらうことで、楽しく文化的な時間を過ごしてもらうことを目的にジョイントコンサートを開演。 ・事前周知、集客方法、会場の選定等の課題は残ったが、シーニックナイトに一つの幅が増えた。 ・次年度はサマーシーズンの開催も検討中である。	
	地域資源の発掘・活用		フットパスルートの整備	NPO法人しりべつリバーネット、ニセコ広域観光委員会	平成18年7月13日	・観光産業の振興は地域産業の活性化に寄与する意味合いから、多様化する観光客のニーズをかんがみ、当エリアでフットパスを通じた「歩く観光」を提案し、地元の方とのふれ合いを演出を目指す。 ・また、平成18年7月13日には、ニセコアンヌプリ山麓コース(東山～ひらふ)地区を整備し観光ルートとして活用することを想定した「フットパスルート整備」を実施した。	
地域コミュニティを大切に地域づくりの推進	地域の人々と連携した活動の推進		NPO法人しりべつリバーネット 団体設立10周年記念誌の発行 『流域連携・流域自治の、いまとこれから』-活動10年の軌跡-	NPO法人しりべつリバーネット	平成18年12月	・団体設立10周年を記念し、『流域連携・流域自治の、いまとこれから』-活動10年の軌跡-と題した記念誌を作成・発行。 ・地域住民との協働による、これまでの歩みとこれからの展開等について記載されている。	
地域の人材の育成と活用	タウンミーティング・研修会の開催		ニセコ羊蹄エリア勉強会「エキノコックス駆除事業について」	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成19年3月8日	・エリア代表者会議と行政連絡会議の構成メンバー等、約50名を対象とした勉強会を実施。 ・酪農学園大学神谷教授をお招きし、エキノコックスの感染症状及びペイト散布による駆除の効果、ニセコ羊蹄エリアにおける今後の課題等についてお話し頂いた。	
			ニセコ羊蹄景観&リゾートフォーラム ～景観を活かした地域づくり～ パネリストとして参加	しりべつリバーネット	平成19年2月16日	・羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会・後志支庁が主催のフォーラムに地域活動団体からパネリストとして、NPO法人しりべつリバーネット理事長牧野純二氏がパネリストとして参加。 ・ニセコ羊蹄地域の未来に向けて～ビジョンに基づく具体的取り組みへ～と題したパネルディスカッションでは、地域としての具体的な取り組み事例や今後の展開等を発表。 ・今回のフォーラムが今後の羊蹄山麓広域景観推進協議会との連携によるアクションプランの提示につながることを期待している。	

地域づくり

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之	報告年月:2007/3/31
----------------------------	--------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括	
観光振興	農産物など地場産品を活用した魅力づくり		アスパラ祭り	NPO法人きもべつWAO	平成19年6月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>喜茂別特産の朝もぎアスパラで春の味覚を味わう。グリーンとホワイトを提供。</li> <li>来場者で行列ができ盛況であったが、品不足となり苦情も出た。</li> <li>来場者が多かったのはPRを徹底したこと。ラジオの日高吾郎ショー、しりべしネット、シーニックの地域情報等で告知し、NHK朝の地域イベントでも取り上げられたこと。</li> <li>品不足の原因は、天候不順でアスパラが品薄であったこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源活用型・体験型ツアーの等、既存の地域資源(モノ、人等)を積極的に活用したメニューの開発が必要。</li> <li>ターゲットを明確にしたメニューの設定が必要。(コアなニーズに対応する「狭く深い」メニュー等)</li> <li>シーニックの活動に参加している地域住民等、地域に還元できる仕組みづくりが必要。(=取り組みの継続に向け</li> </ul>	
	エリアのきめ細かな情報の発信	ホームページで情報発信		FMニセコの開局	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会他	平成18年12月8日		<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の発信基地として経済・文化などの発展に寄与することを目指し、平成18年12月8日に開局式典を開催。12月18日より放送開始。</li> <li>地元身近な話題、暮らしに役立つ最新情報等を放送。</li> </ul>
		ニセコをPRする冊子(英語・中国語)の作成	S N - 4	ニセコガイドブック「3W NISEKO」発行	ニセコ観光国際の会	平成18年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>海外から訪れる観光客の皆様に、スキー&amp;スノーボード、温泉、宿情報やエッセイなどのローカルな情報を提供。</li> <li>エリア内の各観光案内所、JR駅、道の駅等に無料配布。</li> <li>ニセコ観光国際の会のホームページ上でもウェブブックとして公開中。</li> </ul>
		エリアのホームページの作成		ニセコ羊蹄エリアポータルサイトリニューアル	情報分科会	平成18年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のニセコ羊蹄エリアホームページ(運営・管理:きもべつWAO)を大幅にリニューアルし、情報分科会が主体となった形で内外への情報周知及び情報を提供する。</li> <li>基本的な考え方としては、以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> <li>HPのデザインやデータの投稿・更新は誰でも使える簡単なものとする。</li> <li>取材情報や地域情報投稿等は「ブログ形式」を当面想定し、設計を行う。</li> </ul> </li> </ul>
地域とのふれあいを大切に観光の推進	地域の歴史など基づいたツアーの開催		ニセコ・ようていフットパス現地調査	NPO法人しりべつリバーネット	平成18年10月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>紅葉が始まるニセコの周辺をフットパスの可能性を探りながら、約10kmを2時間30分かけて歩きながら調査。</li> <li>コースは、ニセコ駅—親子坂—有島記念館—有島の森—カシュンベツ川沿—国道—ビュープラザとした。</li> </ul>		
	地域の歴史・文化を伝える語りべの会の開催		「環境とコミュニティビジネス」を考える講演会	NPO法人しりべつリバーネット	平成18年9月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>美しい尻別川と緑の環境を次代の子供たちに伝えることを目的として、「バイオディーゼル燃料の活用」、「磯谷コンプの住む海の森づくりの提案」2つのテーマに基づき勉強会を実施。</li> <li>川の情報館で立ち見が出る40名の参加があり、エコ燃料の可能性や磯谷昆布の具現化について意見交換がなされた。</li> </ul>		
	ふれあいのある体験ツアーの企画開催		秋の味覚祭り(じゃがいも)	NPO法人きもべつWAO	平成18年9月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>アスパラ祭りの反省を活かし、申込受付順限定100名様とした。</li> <li>参加者は事前予約が13組、ドライブがてら通りかかった人などで合計30組。</li> <li>こうせん工場跡地駐車場に集合し、軽トラックで畑に連れて行って収穫した。他にはない収穫体験を企画・実施できた。</li> </ul>		
	シーニックバスの運行	S N - 5	シーニックなバスの旅“ぐるっと羊蹄一周バスツアー”	㈱ニセコリゾート観光協会、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成18年9月30日 平成18年10月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>懐かしのレトロなボンネットバスの代燃車「まき太郎」に乗車してもらい、景観に優れている羊蹄山の周りを5か町村の国道・道道・町村道などを通って、のんびりと1周して楽しんでもらう企画。</li> <li>今回は、この企画の3周年を記念して、景観に優れたシーニックデッキでの豪華なランチメニューも提供。</li> <li>ボンネットバス以外のバスでも参加したいという希望が約8割あった。</li> </ul>		

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之	報告年月:2007/3/31
----------------------------	--------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

	基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
観光振興		シーニックデッキ・カフェの設置		シーニックカフェ「曾我の散歩道」	ニセコ観光国際の会	平成18年度	・事前周知・広報PR不足のため、まとまった入り込みはなかった。 ・オープンカフェの利用があまりなかったため、平成19年度以降の展開については、現在検討中。	た仕組みづくりが必要。) )
			S N - 6	シーニックカフェくちちゃんin北四線	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成18年9月3日～10月10日	・昨年、一昨年に引き続き、倶知安町北四線地区にシーニックデッキを設置し、羊蹄山の優れた眺望景観を訪れた方々に提供。 ・今年度は、(株)ニセコリゾート観光協会と連携し、「シーニックなバスの旅 ぐるっと羊蹄一周バスの旅」をタイアップ。シーニックデッキでのランチを試行的に実施した。	
				シーニックデッキinらんこし	らんこしWAO	平成18年6月～10月	・蘭越町三和地区に陶芸工房の協力のもと、シーニックデッキを設置。 ・場所がわかりにくかったためか、まとまった入り込みはなかった。 ・平成19年度は、より景色のよい高台の方に場所を変えて行う予定。	
		★ルートを対象としたイベントの企画・実施 (シーニックナイト2007～灯りでつなぐ雪のみち～)	S N - 7	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「シーニックナイト2007」	シーニックナイト2007実行委員会	平成19年1月27日、平成19年2月10日	・シーニックナイトで参加地域の拡大と地域ごとの個性的な取り組みが実施されるなど連携活動が活発化。 ・今回の取り組みから民間企業との連携も始まり、着実に展開してきている。 ・シーニックナイトにおける拠点づくりの必要性、グリーンシーズンの実施についても検討中。	
		★ルートを対象としたツアー等の企画・実施 (外国人観光客モニターツアー)		外国人観光客モニターツアー	ニセコ羊蹄エリア情報分科会	—	・昨年度は無料で実施し、大変好評だったため、試行的に1人5,000円の価格で募集。 ・しかし、今回は最低催行人員に達せず中止。 ・課題としては、事前計画および周知などに関する課題が挙げられた。 ・次年度以降もエージェント等と調整・協力の上継続的な展開を考えている。	
その他		★エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進	S N - 8	エキノコックス駆除活動	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会 他	平成18年度	・ニセコ羊蹄地域が国際的な観光地へ発展するための環境整備のひとつとして、人間と野生動物が安全に共存できる状況をつくるための生態系修復の試み。 ・倶知安での今年の確認調査では、陽性率が24.0%から1.8%に大きく減少する結果が出た。 ・エリア代表者会議、及び行政連絡会議においても周知・協力体制の構築を図っており、エリア全体の取り組みとしての展開につながることを期待する。	・エリア全体の取り組みとするため、エリア代表者会議及び行政連絡会議等の場を通じ、他の活動団体や各自治体行政機関等との連携を強化している。
		★中学校社会科教科書に、しりべつリバーネットの活動が紹介「公民とともに生きる」(P123)		中学校教科書での活動紹介	NPO法人しりべつリバーネット	平成18年度	・中学校社会科教科書「公民とともに生きる」(P123)に、～さかんになるNPOの活動～と称して、しりべつリバーネットの活動が紹介された。 ・今後とも、尻別川流域の連携・振興のため、地道に活動を継続・発展させていきたいと考えている。	

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告

・行政の事業に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:ニセコ羊蹄エリア)

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄工	報告者: 小樽開発建設部	報告年月: 2007/3/15
--------------------------	--------------	-----------------

	基本方針	平成17年度の活動内容	関係機関	活動実施日	成果及び課題	総括
景観形成	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	既存ビューポイントパーキングの保全・活用(京極町更進地区) 新規ビューポイントパーキングの整備(ニセコ町黒川地区、喜茂別町相川地区)	小樽開発建設部 倶知安道路事務所	通年	地域の活動団体との連携により、今年度新たに羊蹄山を望める場所に2箇所のビューポイントパーキングを整備。また既存のパーキングについても、地域の活動団体と連携協力して清掃及び維持管理を行っている。	今後の利活用及び維持管理についての支援体制の構築が必要である。
		とるばへの登録	小樽開発建設部	平成18年度	景観の優れた5箇所(京極町更新地区、有島記念館、積丹町沼前、倶知安町ひらふ、喜茂別町相川)について地元及び一般観光客の投稿により認定された。	「とるば」標識が設置され、既存の駐車場に付加価値が付き、地域住民への周知につながった。
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	町民ボランティアの集い「まちをきれいにしよう」	京極町	平成18年5月	ゴミや空き缶を拾い集め、きれいなまちづくりを行うことを目的として、毎年5月に市街地の清掃活動を実施。	平成18年は町民約200名が参加し、町内一円のごみ拾いを実施。また、シーニックハイウェイ活動団体である「京極町景観を考える会」からは15名が参加し、雑木の除去作業を実施した。
		フラワーロード事業の実施	真狩村	平成18年6月3日	毎年5月下旬～6月上旬頃、道道66号沿道約2kmにわたりユリの球根植えを実施。事業継続に向けた財源の確保が課題。	村づくり研究会の主催で継続されており、今年度は村内外から約100人以上の参加があった。
		花いっぱい運動	留寿都村	平成18年5月	留寿都高等学校が育苗した花苗を地域住民団体が定植し、主に市街地の国道230号線沿いと公共施設等の花壇を中心に景観整備をしている。植栽後の手入れ等の人材確保が課題。	5月下旬から6月上旬に、村社会福祉協議会主催で村観光協会や老人団体、女性団体等が参加して上記事業を実施。高校生74名の他、地域住民約80名の参加があった。
	尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	尻別川クリーン作戦	蘭越町 小樽開発建設部 後志支庁	平成18年6月24日	シーニック活動団体である、しりべつリバーネットが主催となり、清流日本一の尻別川の清らかな流れを守ることが流域全体の自然を大切にすることを広げることが目標として、カヌー等を使って清掃。作業終了後は地域との交流を図る交流会を実施。	約300名のボランティアの参加を得て実施。アンケート結果から「また来年も参加したい」との声が多く、尻別川を愛する心が育まれてきている。今後は清掃活動を通じてマナーの向上を目指す。
地域づくり	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	雪トピアフェスティバル2007(実行委員会構成メンバーとして参加)	倶知安町	平成19年2月25～26日	雪トピアフェスティバル2007(平成19年2月25～26日開催)の実行委員会構成メンバーに参画、ホワイトムービー、スノーキャンドル等の企画実施に従事。	地域における地域活動団体と市町村の役割や分担に沿った形の連携が望ましく、相互理解による尊重性とある程度の緊張性が必要と考える。
	地域コミュニティを大切に地域づくりの推進	「シーニックナイト2007」への協力・参加	小樽開発建設部、 小樽開発建設部倶知安道路事務所	2007/1/27 2007/2/10	広報PR等の支援、キャンドル点灯の参加等地域住民と協働作業を行うことでエリアとして連携した事業に発展した。また、取り組み内容は新聞等各種広報媒体に掲載された。	継続に向けた支援体制についての検討が必要。
	地域の人材の育成と活用	中山峠観光トイレの管理委託(シーニックハイウェイプラザin中山峠の管理運営)	喜茂別町	通年	平成18年度にNPO法人きもべつWAOが実施した各種事業について広報活動、人的支援等の協力を行った。	財政状況が厳しい中、行政側として活動団体に金銭的な支援は厳しい状況にある。そのような中で喜茂別町としてセンターを運営していた、きもべつWAOに対し中山峠観光トイレの管理を委託することで、雇用の創出、活動資金の捻出、観光ホスピタリティの向上等お互いにメリットがありシーニックの発展につながられる。
観光振興	農産物など地場産品を活用した魅力づくり	食をテーマとしたイベントの実施(しりべし「秋の味覚めぐり」の開催)	後志支庁、小樽開発建設部他	平成18年9月1日～10月9日	参加市町村が、農水産品をはじめとする物産の販路拡大と管内への観光客の集客及び回遊を促進するため、道の駅、「直売所」及び特設会場等それぞれのイベントを行い、後志の食と観光のPRを行うとともに、そのイメージアップを図るキャンペーン。	後志管内20市町村の「道の駅」や直売所等をより多くの方々に来訪してもらい、管内の農・水産物等を知って頂く事で、今後の後志地域の発展に寄与すると言う趣旨から、しりべし「秋の味覚めぐり」と題した物販・直売キャンペーンを9月10日から10月11日の期間で開催。
	エリアのきめ細かな情報の発信	しりべしシステム事業との連携(HP等の媒体活用による情報発信)	後志支庁、 小樽開発建設部	通年	「しりべしシステム」では、地域だよりとして各自治体からのイベント情報等を随時提供している。また、シーニックハイウェイニセコ羊蹄エリアのサイトリニューアルについても、お薦め景観ポイントやシーニックイベント情報等の提供を検討中。	「しりべしネット」と「シーニックニセコ羊蹄エリアサイト」とのリンク及び連携した形での情報提供についての検討が必要。
	地域のとのふれあいを大切に観光の推進	食をテーマとしたイベントの開催支援(きもべつアスパラ祭り、秋の味覚祭り)	喜茂別町	■アスパラ祭り 平成18年6月11日 ■秋の味覚祭り 平成18年9月17日	「アスパラ祭り」では、きもべつ特産のホワイト&グリーンアスパラを試食、販売。 「きもべつ秋の味覚祭り」では、喜茂別産のじゃがいも収穫体験を企画・実施。 事前の周知もあり、来場者多数。	企画及び当日の運営については地域活動団体が主体となって行い、来訪者とのふれあいの機会を提供することにつながった。
その他	★エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進	エキノコックス駆除活動の普及啓発支援	小樽開発建設部 他	通年	地域の活動団体である、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会が主体となって実施している取り組みの普及啓発に関する支援を実施。	エリア代表者会議や行政連絡会議等の各種行政機関が参加する場で話題提供し、エリア全体としての取り組み発展に向けた支援を今後も行

3. 地域及び行政の運営に関する報告

・支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之	報告年月:2007/3/31
----------------------------	--------------------------------	----------------

	基本方針	具体の活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
地域の運営 に関わる事項	景観形成の推進	エリアでの花植え、 植栽	← 企画・検討	→ 最終調整	各種花植え 活動の実施 (6月エリア植 栽活動月間)											
		清掃活動の実施	← 企画・検討	→ 春の清掃 活動実施	春の清掃 活動実施		← 企画・検討	秋の清掃 活動実施	秋の清掃 活動実施							
	地域づくりの推進	エキノコックス駆除 事業の実施				○ペイト散 布 (7/20)	○ペイト散 布 (8/21)	○ペイト散 布 (9/20)	○ペイト散 布 (10/19)	○ペイト散 布 (11/20)	← 調査・分析	→ 調査結果 とりまとめ			●3月8日 勉強会開催 (留寿都村にて)	
		シーニックナイト 2007の実施							← 企画・立案	→ 最中調整		●1月27日 第1弾実施	●2月10日 第1弾実施			
	観光の推進	シーニックバスツ アー(まさ太郎)の 運行			← 企画・検討	→ 最終調整			まさ太郎運行 (9/30)	まさ太郎運行 (10/1)						
		外国人観光客 モニターツアーの実 施				●6月14日 勉強会実施 (他エリアと共同)					← 企画・立案	→ 最終調整		※最低催行 人員に達せ ず中止		
エリア運営	エリア代表者会議開 催		●5月17日 開催						●10月7日 開催 (ルート代表者 会議準備会)		●12月7日 開催			●3月8日 開催		

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:小樽開発建設部	報告年月:2007/3/31
----------------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事項	行政連携に関するヒ アリングの実施						← 行政関係 機関ヒアリング	行政機関景観・ 観光・地域取組み 状況 等						
	行政連絡会議の実 施											●2月6日 開催	●3月14日 開催	
	三開建連絡会議の 実施					●8月3日 第1回開催 (ニセコ)		●8月4-5日 第2回開催 (洞爺湖)	●11月17日 第3回開催 (支笏湖)					

4. 審査委員会意見に関する報告

・支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルートニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之	報告年月:2007/3/31
----------------------------	-------------------------------	----------------

		支笏洞爺ニセコルート運営代表者会議の報告	支笏洞爺ニセコルート行政連絡会議の報告	備考
シーニック バイウェイ ルート全体 に対する意 見	景観への取り組み:景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニティビジネスの創出	景観意識の向上やコミュニティビジネスの創出等をふまえ、「シーニックナイト2007」によるコミュニティビジネスの創出等に向けた試行的な取り組みが始まりつつある。(民間企業との連携強化、サポーター制度の導入等)	ニセコ羊蹄エリアにおける景観づくりの推進については、「羊蹄山麓広域景観推進協議会」において、地域の活動団体の方々と継続的に検討を行っていく。	
	持続性の確保:参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用	最終のエリア代表者会議にて、ルート運営の組織的な仕組みの評価と再構築の必要性が挙げられており、今年度実施されたいくつかの活動については、評価軸(政策軸、マネジメント軸、成果軸、コストパフォーマンス軸)を設定し分析を実施した。また、活動の継続、モチベーションの維持には、第三者的な立場の方からの助言、アドバイス等が必要不可欠と考える。	行政連絡会議において、行政機関としての支援体制についての検討が行われ、今後各機関でシーニックの普及に向けた取り組みを進めていくこととなった。(担当窓口の明確化、広報PR支援等)	
	地域特性の活用:北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保	最終のエリア代表者会議にて、シーニックバイウェイらしい活動・事業等、コンセプトの再整理が必要との意見が多く挙げられた。また来訪者に対するホスピタリティとして、特に歴史・文化などについての地域としての継承は今後の展開に向けた課題として考えられる。		
	ホスピタリティ向上:研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成	大学教授等のエリアアドバイザー制度等の検討、学生等によるエリアサポーター制度等の検討について継続的に行っている。		
	全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携	エリア内の団体による外国語対応のパンフレット発行やホームページの管理がされており、アクセス数は繁忙期では約15万件等ニーズは多い。また、各種ツアーにおいて旅行代理店等との連携による取り組みが増加しつつある。	ホームページ等の各種情報媒体を通じ、他施策等の紹介等を行った。	
	開かれた運営体制:継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働	「るすつWAO」が来年度新規団体として正式に参入する。今後も必要に応じてエリアとして新規参入への誘導等を積極的に展開する。	行政連絡会議や各機関が主催するフォーラム等に地域活動団体及び地域住民に広く声をかけることで、開かれた運営体制を目指した。	
	既存観光地からの脱却を目指し、歴史・文化・レクリエーションなど幅広く地域の個性を生かした新たなツーリズムの展開に向けた取り組みの実施	フットパス整備に関連し、地域の語り部の育成やインバウンド企画としての商品化等の検討が現在も進行中である。ここ2～3年のうちに試行的な取り組みを実施することを目標としている。		
支笏洞爺ニ セコルート	今後、3エリアがひとつのテーマでつながり、ブランド化されるため、一層連携した取り組みが必要であるとともに、十分な体制と支援が必要である。	「シーニックナイト2007」の実施において、前回以上にエリア間の連携が強化された。また、3エリアを包括する実行委員会も設立し、今後の運営体制の構築につながっている。	シーニックナイトにおいては、各種報道機関への情報提供やPR等、広報周知に関する支援を行った。また、道路情報板を活用したルート名の表示については、札幌開発建設部、室蘭開発建設部と情報提供内容及び時期を統一し、ルートとしての統一	
	地域住民、旅行者が共有できるようなテーマ、ルート名(愛称含む)等の工夫が引き続き必要	エリア代表者会議にて、昨年度に引き続き、次年度以降も「支笏洞爺ニセコルートとしてのCI計画(統一看板、ビューポイント等)」について検討することとなった。	国土交通省の社会実験において倶知安町比羅夫地区の案内標識のあり方について官民共同による検討を行った。	
	ウェルカム北海道エリアについて、市街地部の景観改善が本ルートの重要な役割を担うことから、景観意識の向上等に継続的に取り組んでいく必要である。	-	-	
	「食」文化について一層の取り組みを期待したい。	季節の食材をテーマにしたイベントの実施や地産地消に関する勉強会等が各活動団体において企画・実施されている。	地域における「食」をテーマとしたイベントとして「しりべし「秋の味覚めぐり」」を開催した。	

5. 平成17年度活動報告への助言に対する状況報告

・支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:ニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之
----------------------------	---------------------

平成17年度活動報告への助言	平成18年度 状況報告			備考
助言 1	記載事項	現ルート運営計画	新規 記載事項	
①現状における「運営体制」「関係団体数」「関係自治体」等の実態にあわせルート運営活動計画を見直すこと。	・新規団体の加入	—	るすつWAO(代表:藤岡 弘勝)	○ニセコ羊蹄エリアの活動団体数 →現11団体から12団体へ変更
助言 2				
②基幹となる道路に、地域住民、旅行者が共有できるような分かりやすい名称の検討が必要	・エリア代表者会議にて、「シーニックバイウェイらしい活動・事業等、コンセプトの再整理が必要」、 「シーニックバイウェイに相応しい道路景観整備、沿道景観美化事業の推進」等が挙げられており、次年度以降「支笏洞爺ニセコルートにおけるCI」や「シーニックらしい道路付属物」等についてプロジェクトチームを組んで検討を進めることとなった。			